

平成三十一年四月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十七卷 第四号 通巻七六二号

# 書 系



私たちが「日本の書道文化の  
ゴネス「書形文化遺産登録」を  
応援しています。」

日本書道芸術協会

2019-4

## 卷頭言

### 四月 新しい挑戦

副理事長 樋口玄山

新年度、新学年、四月。生活が新しく生まれかわっていくような期待と緊張感があります。暦の正月とはちょっと違う新年のスタートです。自分なりの目標を立てるといふのは、必ずみが加わります。新しい挑戦です。

たとえば、苦手な右払いの書き方をマスターしよう。調和体作品に打ち込んでみよう。細字実用書に慣れておきたい。あの大好きな古典の全臨を今年中に。読売展に出品しよう。等々。文字通り希望の春となります。

目標を立ててもその進め方には迷いがある。どこかで相談したくてもどうも気がひける。そんな時は書象会主催の各種講習会に是非ご参加下さい。先生方と親しくお話しできるチャンスがあります。参加のお仲間から刺激を受けることもあります。それから書象展。鑑賞の途中でお会いした先生から思わぬアドバイス、ラッキーでしたというのは参観者の声です。目標を立てたら積極的に動いてみることをお勧めいたします。そしてあとはきれいな花を咲かせるべくコツコツ努力の積み重ねです。成果はすぐには出ないかもしれません。そう簡単ではありません。が、努力は報われる。努力は人格に高い香りを与えてくれる。一瞬、教育者のお顔になった信山先生が、こんなことをお話しして下さったことがあります。

今回紹介する上條信山先生の作品「満城流水香」。禅語で、この前に「一夜落花雨」の句があります。「一夜、落花の雨。満城、流水香し。」と読むのでしょう。せっかく花を咲かせようとしたのに、夜のうちの無情の雨。気づけば翌朝、満城の流水に花の香が。それはそれ、この線の清々しさはどうでしょう。



上條信山先生書「満城流水香」



枯魚濁水に就く

4月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

・各字の概形を意識して書く。  
・文字の大小や行間、字間に注意して全体の調和を図る。

無：書き方がそれぞれ異なるので注意。

受：不等間隔を意識する。



想：上下のバランスに注意する。



行：文字の中心に気をつける。



識：その角度、長さがポイント



受想行識も無く、（眼耳鼻舌身意も）無く、…

4月20日必着  
出品券を貼付

・力強く運筆する。

故…しっかりと筆を置いて運筆する。偏と旁の位置・バランスにも留意する。



空…特筆すべきは二画目のカンムリ、力強く右上へ大きく伸びている点。その下は軽快に運筆する。



故

空

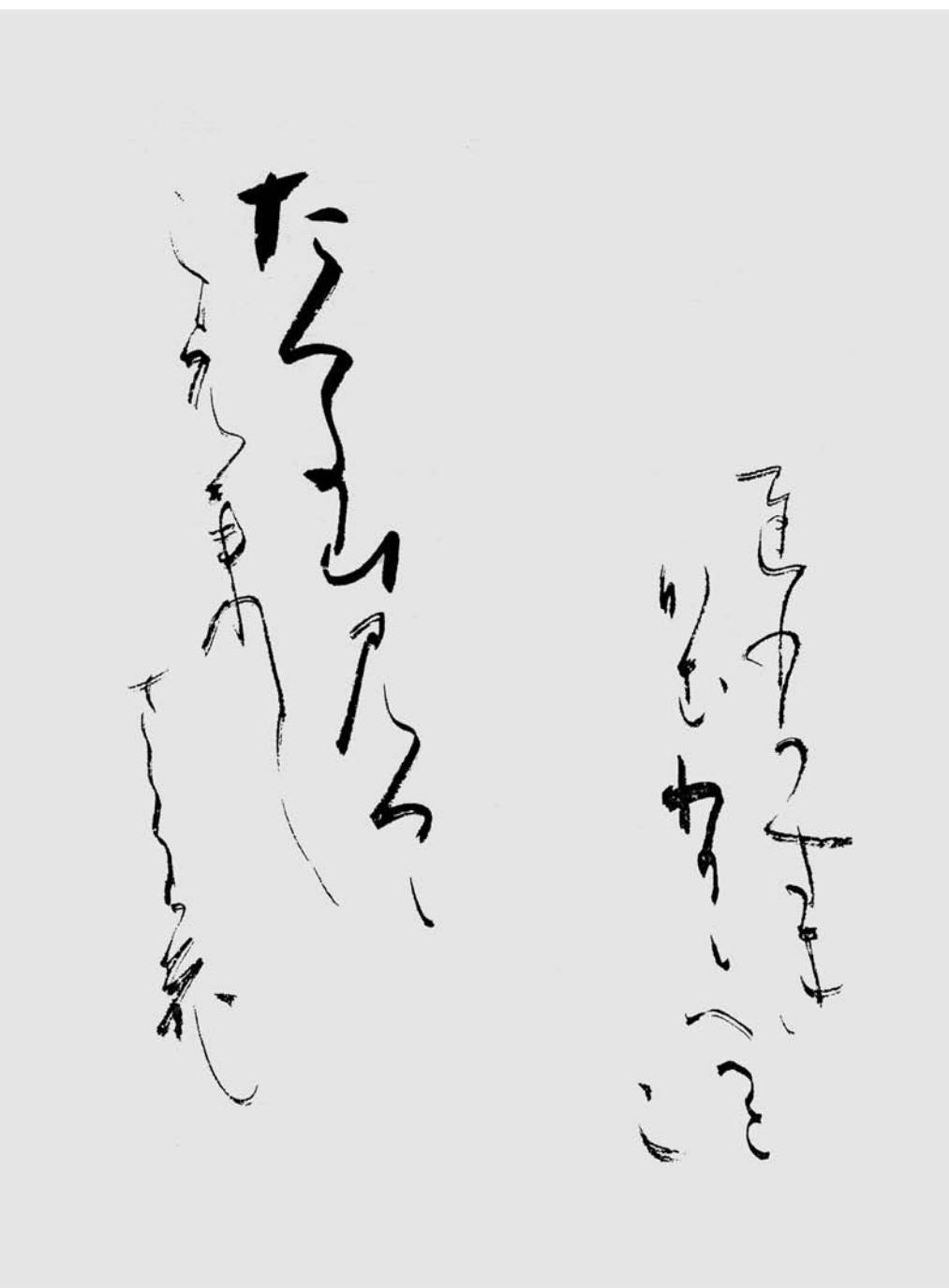
假名規定【假規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

たつた(多) 山見つつ(→) こえ来しさくら花  
ち(遅)り(利)か(可) すぎな(那) むわが(可) か(→) へるとに(二)

(大伴家持)

4月20日必着  
出品券を貼付

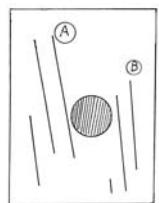


一  
ると

「ち  
（遅）」

「五、六」

「こえ来」



行の流れは左図参照。  
左上の「たつた（多）」  
（Ⓐの位置）で含墨  
して書き始める。後  
半は、Ⓑの二行目  
「わが（可）」で軽く  
墨つけをする。

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

「いか(可)に(一)」

「い」からリズム良く「可」に移る。

「二」の二画めは三字のバランスをとらない。がらや強めに書く。

「に(尔)しき」

「二」三字目はやや右へ。

「し」の形と動きに注意。

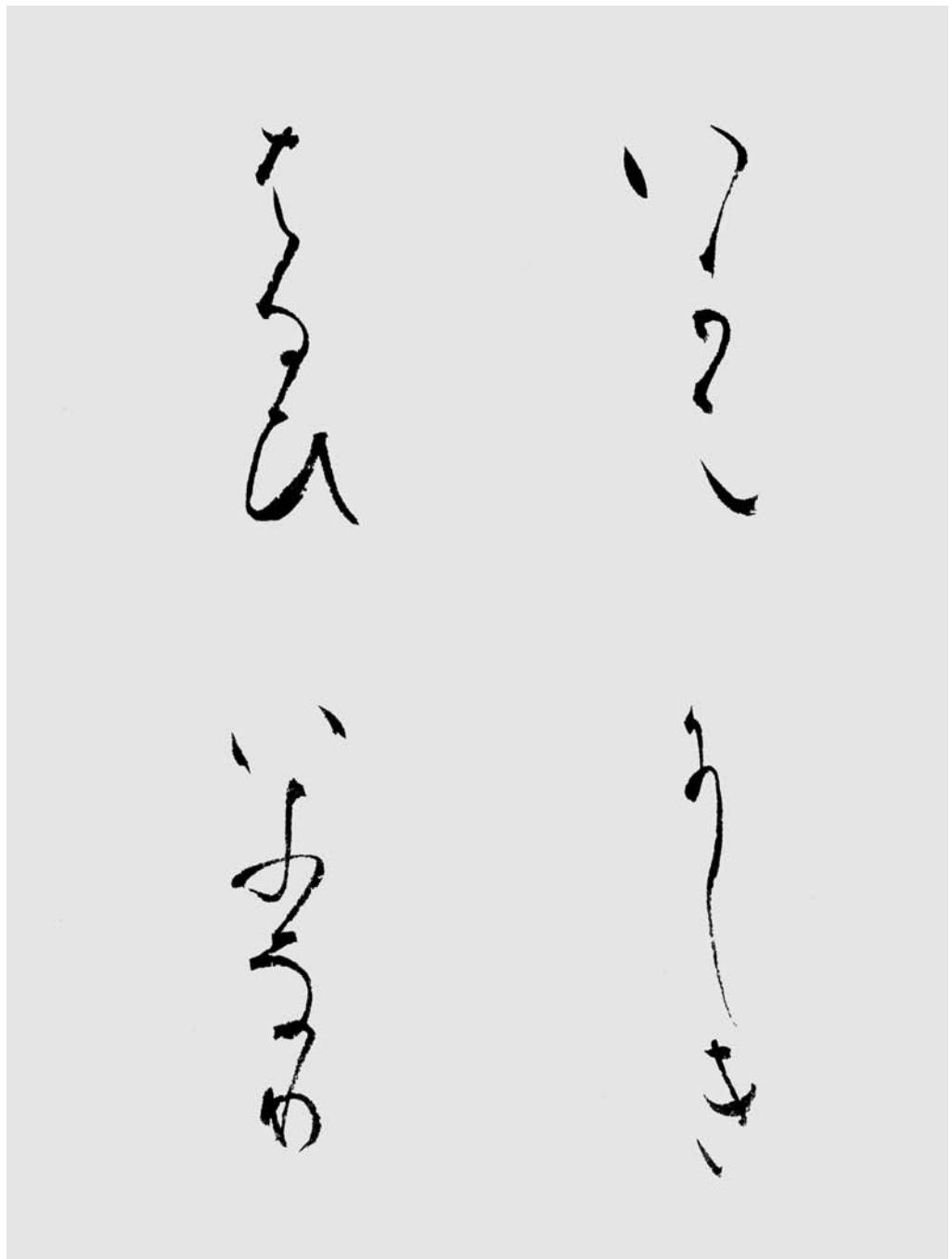
「は(者)るひ」

「い」「ふ」はゆったりと。「る」「ひ」の折り返しはしっかりと。

「いふな(奈)り(利)」

「い」「ふ」はゆったりと。「利」はやや傾けて小さめにまとめる。

いか(可)に(一)に(尔)しきは(者)るひいふな(奈)り(利)



朝辭白帝彩雲間  
千里江陵一日還  
兩岸猿聲啼不住  
輕舟已過萬重山

李太白詩

氏名

・今月の課題は褚遂良の楷書の書風で書かれています。  
・横画の方向と長さに留意して書きましょう。  
・字幅を広くとりましょう。

早発白帝城

朝辭白帝彩雲間

兩岸猿聲啼不住

輕舟已過萬重山

(李白)

4月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します



夢は落花と與に飛ぶ（陳文述の句）

- ◎細い線を用い、ざっくりと太く書こう。
- ・夢は夢と同字。夕の左払いは伸び伸びと。
- ・與は省略字体。P14の筆順を参考に。
- ・飛は左右の太い画をスピードィーに。
- ・落は草かんむりの二点ぞっしりと。
- ・花は太い線で少し小さめに。
- ・飛は左右の太い画をスピードィーに。

条幅隨意【条隨】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



久方の雨に（ニ）ぬれつゝ時鳥な（那）くこえ（惠）  
き（支）け（遣）ばむか（可）しお（於）も（毛）ほ（本）ゆ。（良寛）

- ・墨の潤滑を生かす
- ・特に渴筆の変化を工夫する
- ・二行目終わりは渴筆で軽めにまとめる
- ・「雨に（ニ）」「時鳥」「くこえ（惠）き（支）け（遣）ば」はP14参照。

目學櫻山

中学一年規定 [学毛]

樋口玄山先生書

里原遊心

中学二・三年規定 [学毛]

田中節山先生書

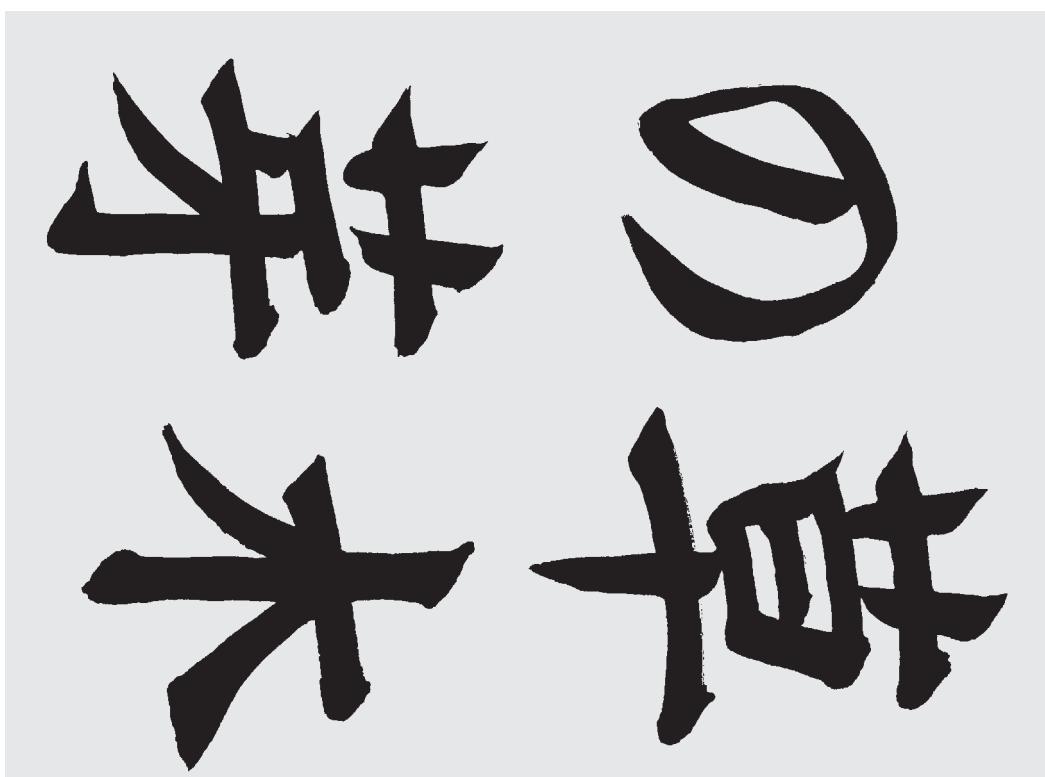
小学五年規定

【學毛】

宮本耕成先生書

小学六年規定 【學毛】

石丸曉風先生書



人、口

小学三年規定【學毛】

熊木珠紅先生書

木、火

小学四年規定【學毛】

小潤石峯先生書

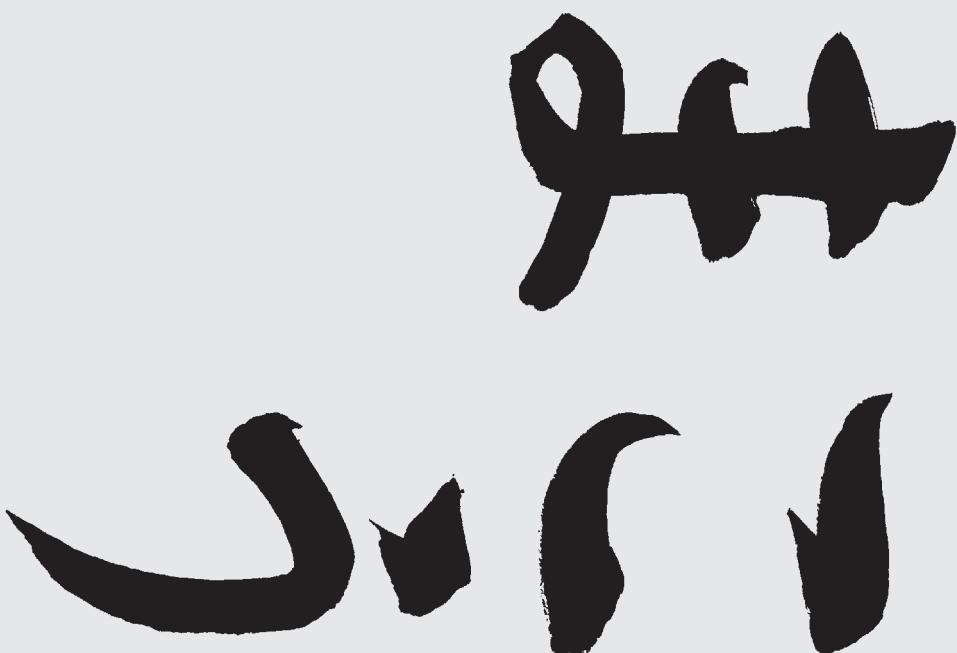
小学一年規定 【学毛】

渡辺華雪先生書



小学二年規定 【学毛】

柳澤玄嶽先生書



## 硬筆規定

豊かな人生を持つた(多)め(免)には、自己の仕事に信念を持つこと可能性を信じて全力を尽すことだ。

一般規定【二硬】(師範・準師範・段位)

上條信山先生書

豊かな人生を持つためには、自己

の仕事をに信念を持つこと可能性  
を信じて全力を尽すとした。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶嶽風先生書

私が思う、「貧しい人」とは、限りなく、  
欲を持ち、「いくらあっても満足しない」人のことだ。木セムヒカ

中学規定【学硬】

藤岡月華先生書

「古代文字」はなかなかおもしろい例  
えば、「人」という文字は立っている人  
間の形「人」とかく、

## 小・中学生随意課題【学隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	大	五 小 一・二年 学	上達	三 中 学	友

### 手本解説

・基本 「枯魚就濁水」は左図参照。



・漢字条幅規定 「與」「飛」の筆順は左図参照。



・仮名条幅隨 「雨に(い)」「時鳥」「こえ(恵)き(支)け(遣)ば」は左図参照。  
作品制作上の  
筆順です。



### 学生部規定



中学二・三年



中学一年

「野」は左右の組み合わせ方が大切。は縦長に書く。「原」の三画目以後は中線よりやや右に。「遊」は「く」は反り貝合の注意。「遊」は窮屈にならないよう、間を意識する。「ぶ」は筆脈を意識して、画りよく書く。

「学」は冠を最大幅にし、七画目は軽く曲げる。「習」は上下の組み合わせ方に注意して書く。「目」は画間を整え、点の接し方を意識する。「標」は画間や線の長短に注意する。画間や線の長短が大きくなり過ぎないように

来週の学級会では、私達の意見をまとめて発表する予定です。

小学三・四年規定【学硬】

大島皎山先生書

春の陽気にさそわれてさくらの花がほころび始めました。

小学一・二年規定【学硬】

名前  
支部 年 級段

なまえ	なまえ	なまえ
支部	支部	支部
年	年	年
きゅうだん	きゅうだん	きゅうだん
大島皎山先生書	成瀬恵苑先生書	成瀬恵苑先生書

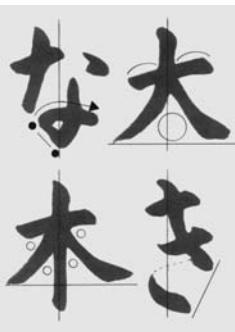
※出品券を貼付して下さい。

一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生はペン使用のこと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆使用のこと(鉛筆も可)。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさ→たて18cmよこ7cm 小一・二課題→2.1cm巾のマス目。紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm巾の罫線を引く。



小学二年

「大」の二画目は横画を二等分する。左の払いを最大幅にする。「き」の横画と三画目の交わり方に注意する。「な」は横画を三角形をイメージする。「木」は縦・払いの画間をそれぞれ等しくする。

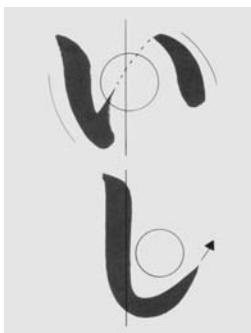


小学四年

「草」は下部の横画を最大幅にする。縦画は中心線上に書く。「木」は左右の払いの長さ・方向に注意する。「の」は始・終筆の位置に留意する。「芽」の草冠は扁平にして、「牙」との組合せ方に注意する。



小学六年



「い」は向かい合う線を外側に反らせる。また、長さや方向にも気をつける。「し」の概形は縦長を意識する。終筆の払いの方向と筆使いに注意する。



小学三年

「話」は横画の画間・長短や「口」の画の接し方に注意する。「し」は中心線よりや左から書き始める。「合」は左右の払いを最大幅にして均衡を保つ。



小学五年

蘭亭叙 晋（三五三年）

形に主観を加える

〈ねらい〉 古典の特質を失わない範囲で、出来るだけ形のデフォルメを行い、創作の香りの強い臨書をする。

書き方

- ① 文字数を間違えないで出品して下さい。
- ② 続き文字でなくとも構いません。
- ③ 落款を入れて下さい。
- ④ 作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。更に制作意図も書いて下さい。
- ⑤ 古典研究の出品券を貼付して下さい。

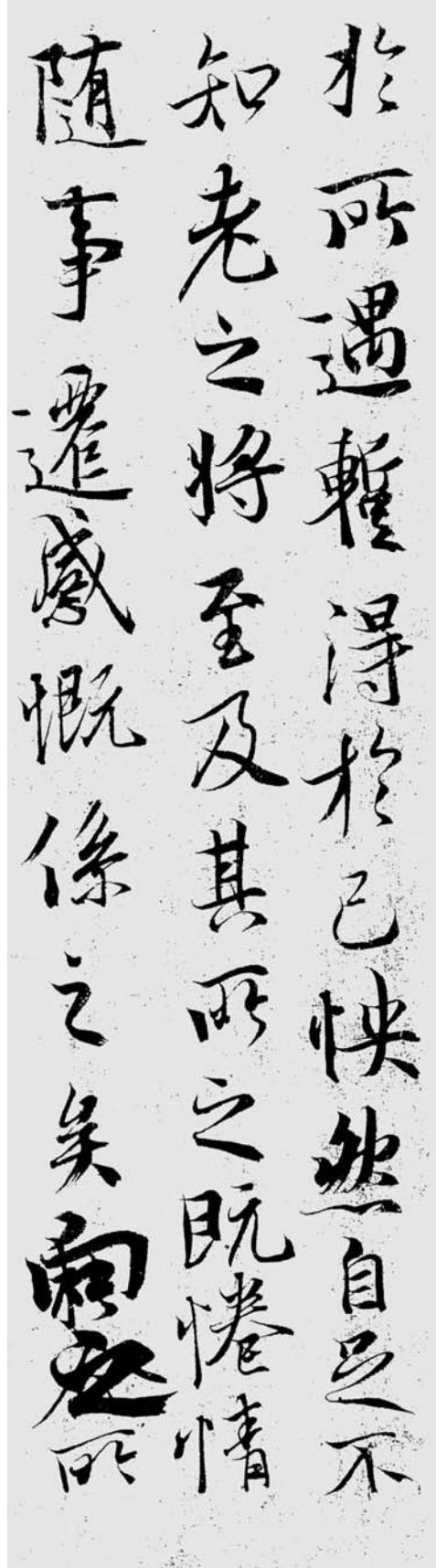
（編集部）

〈學習①〉 対象古典の中から一字を選び、その特質を生かしたままで、思いつ切り縦長に強調してみる。次いで思い切り扁平に書いてみる。

〈學習②〉 次のねらいのもとに、対象古典の特質を生かして表現的臨書を試みる。

⑦ 頭部を大きく強調してみる ⑧ 下部を大きく強調してみる

〈學習③〉さらに創作に近づけて、対象古典中の四～六字ぐらいを、大小、長短等の全体構成をも考えて、表現的臨書Aの線表現をも駆使して、作品風の臨書を試みる。



〈訳文〉 於所遇。翫得於己快然自足。不知老之將至。及其所之既倦。情隨事遷。感慨係之矣。向之所

## —新手本『犬養公之碑』について— その2

### 一九八二年「犬養公之碑」の発刊にあたって

犬養毅（木堂）没後五十年を迎える昭和五十七年（一九八一年）、その遺徳をしおび、末永く顕彰するため、「犬養公之碑」を発刊する運びとなりました。発刊にあたって「宮島詠士（大八）先生の人と書」について、上條信山先生が詳しく書かれています。「古法の悟入」「犬養公之碑」について抜粋してご紹介します。また、田中節山先生が、上條先生からお聞きになった「犬養公之碑」についてのお話を併せてご紹介します。

### 「宮島詠士（大八）先生の人と書」より…〈上條信山先生〉

#### ○古法の悟入

詠士先生が千里を遠せずとして廉卿を訪ねたにもかかわらず、書は教えるものでも、教わるものでもない、自分で悟るものだと言われ筆さばきの実際は見せなかつた。

師の書の再現が出来ず、古法はさとれず苦しみ抜いていた矢先、突然の師の死に逢い涙にくれるが致し方なく廉卿宅に別れを告げ、揚子江岸に舟を待ちながら、杖でなにげなく白砂にさらつと一線を画いた瞬間、フッと師の説かれていた、落筆軽、終鋒急、発筆遠、入墨渋の原理が胸中に鳴りひびいた。驚いて宿に飛びかえり直ちに筆をとったが寸分のくるいはなかった。うれしくて部屋の中を飛び回ったわけだが、師の魂が最後の導きをして下さったのだろうと感慨深く話されていた。

#### ○犬養公之碑

総理大臣犬養木堂翁の筆者として、詠士先生が選ばれたのも全くゆえあることである。詠士先生は「書は自らをただすもの」とされていたから、人に書を乞われた場合これに応ずるのには、一字といえども心魂を尽くされたものであった。二年、三年、五年もかかってしまうのが常であった。木堂翁碑



犬養公之碑（岡山市）

### 「犬養公之碑」について…〈田中節山先生〉

詠士先生書丹の二碑について、佐藤氏念祖碑の拓本出版を四国新聞から依頼されて、上條先生がそのタイトルを揮毫された時、二碑の書についてこう語られた。

「木堂翁と詠士先生は、大切な人間関係を保つておられ、二人の間に約束があつたそだ。どちらか先に亡くなつたら、その墓石の揮毫は残つた者がす。不幸にして犬養毅内閣総理大臣は不慮の死を遂げられた。まさか、詠士先生が犬養公の碑を揮毫することになろうとは…。いざ揮毫し始めると悲しみと怒りがこみ上げて、まともな文字にならない。数枚書き上げても、その一枚に修正、また修正の紙切れが貼り重ねられた。犬養公への思い高まり悲しくなると文字は小さくなる。記録の部分では大きくなる。碑面には、その様子があちこちに展開されている。まさに、詠士先生の心情の書と言える。これぞ宮島大八先生の素晴らしい心の書だ。ここに印刷上梓された『佐藤氏念祖碑』は、事実を揮毫したもの、坦々と揮毫されている。学ぶなら揃つてこの方かな。本物の心情を知るなら、やはり『犬養公之碑』であろう。」

についても同様であつたろうと思う。

私はその原案を見せてもらつたが、碑の大紙型に字わりして線を引かれ、時に数字、平行、一行と書き直して添附されていた。北巍の精神に九成宮を加えた細身で厳正なもので、沈着整齊、神韻縹渺たる日本的書風である。高古雅健、詠士先生一代の傑作となつた。出来上がつた時これをコロタイプにしていただき、また碑になつてから拓本も当時入手し大切にしている。

# 平成三十一年度 書象会総会・新年会

とき 平成三十一年一月二十七日（日）  
ところ 東京・京王プラザホテル「コンコードボールルーム」



市澤静山理事長の年頭所感



田中節山会長による乾杯



上條節夫様をまじえての鏡開き



左から上條信山先生のご長男 上條節夫様  
ご長女 唐澤かづ子様、ご次男 上條信之様



今年も大勢の出席があり楽しく一時を過ごしました



食事の合間にお隣の人と話が弾みます



テーブルを共にした皆さんと記念撮影



先生方が揮毫された色紙が抽選で当たります

理事長先生の色紙が当たりました



第57回書象展奨励賞受賞の皆さん



第57回書象展桜花賞受賞の皆さん



第35回読売書法展特別賞受賞の皆さん



第57回書象展書象賞受賞の皆さん



審査会員昇格者の皆さん



第80回謙慎書道会展特別賞受賞の皆さん



無鑑査会員昇格者の皆さん



通信条幅研究会で表彰を受けた皆さん

# 平成三十一年書象会授号式

とき 平成三十一年一月二十七日（日）

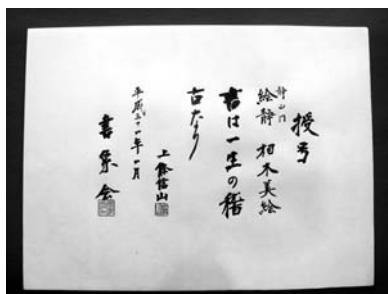
ところ 京王プラザホテル四十七階「あけぼの」



市澤静山理事長の激励の言葉



授号証授与



授号証



今回授号された皆さん



授号者代表の言葉 永井 麗扇さん

平成三十一年度第五十七回書象展審査結果により、左記の通り書象会昇格者が発表されました。ますますのご活躍を期待いたします。  
P20の写真は、新年会で紹介され、委嘱状を受けた後の記念スナップです。

## 平成三十一年度 書象会昇格者

評議員 25名
安達 晓峰
今井 春海
加藤 征光
熊坂 吾碩
斎藤 彩節
高橋 淡愁
東郷 君子
廣松 蘭節
山口 智洲
前田 前田
名琴 寿月
水野 経霜
林 晶光
伊達 潮虹
鱸 桃娟
石井 蒜峰
大澤 輝節
金子 沙泉
倉谷 聰月
菊地 恵爽
岡田 凰吟
小島 華凌
井上 珠映

無鑑査会員 4名

藤井 榴花  
北井 珠虹  
工藤 和春  
中村 秀華

—書道史に登場する人々を知る—

## 『書道史 謎解き三十話』の紹介

本会常任理事の魚住卿山先生による新著が発刊されました。書の歴史的な位置づけや書法については、数多くの書籍が刊行されています。

この本は、三十の短編による“謎解きのスタイル”で、書道史に登場する人物の生涯を知り内面に触れ、秘められた背景に迫っています。

王羲之、顏真卿、智永、歐陽詢、王鐸、呉昌碩、聖徳太子、空海、道風、行成、良寛をはじめ、中国・日本の書道史に名を遺す大家たちは、どのような生涯をおくり、その書法にはどのような思想が込められているのでしょうか。歴史と書法の両面から検証する事により、作品が生まれた時代背景や、書の大家たちの生きざまや運命までも読み解いていきます。

書を学び、鑑賞するための格好の手引きとなる、興味津々の一冊。著者である魚住先生が岩波読書人誌「図書」二月号に書かれたメッセージをご紹介いたします。

(編集部)

著者からのメッセージ

# 名筆を生み出す力



魚住和晃



書の名家とは秀でて美しい字を書いた人と解されがちですが、実は美しい

ことによってこそ、本物の書鑑賞が成り立つといえましょう。

字を書く専門家は書生と呼ばれ、多くが下級官吏に留まって、名すら残されませんでした。中国の隋以前の名碑や造像記、墓誌銘に書者の名が記されているのはほんの数えるほどで、日本の平安期における仮名の名作でも、どれひとつとして書者の名はありません。

つまり、名家や名作が歴史を通じて評され名を残したには、うまさを越えたそれだけの理由があつたに違いありません。そこに注ぎ込まれた理由、また価値観とは何か、それを知り踏まえ

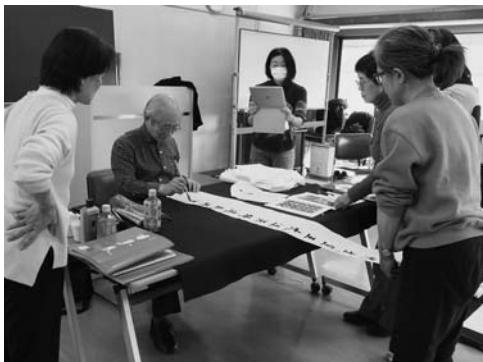
ます。

(うおずみ かずあき／書家、神戸大学名誉教授)

## 実技講習会

### 「書象展の作品を作ろう」に参加して

講会期  
二月十日（日）  
師場日  
武藏野公会堂  
市澤静山先生  
杉山暁雲先生



市澤先生の揮毫に見入る参加者



杉山先生の丁寧なご指導



熱気あふれる鍊成風景

日曜日の喧噪で賑わう吉祥寺の繁華街にある武蔵野公会堂、会場設営から参加者で準備し、その後先生の説明が始まるまで、何となくざわざわと意氣込みばかりが盛んな参加者たちです。冒頭、杉山先生から「講習会とあります、今日は鍊成会です。作品への集中と皆さんとの気の高まりで心地よい空気感を作っていきましょう。その中で、よい作品が生み出せれば大成功だと思います。」とのお話をうかがい、身の引き締まる思いがしました。

早春の明るい光に包まれて、ひたすら筆を動かす参加者たち。指導の市澤静山先生、杉山暁雲先生は、一人一人に寄り添い、模範揮毫をされ添削指導をしてくださいました。手をとつての筆圧の指導、作品に合わせた適切な筆を貸してくださいなど、親身なご指導は今まで経験したことの無い温かさを感じるものでした。

最後に作品選考をしていただき、「これから約一ヶ月作品を書いていくのですが、これを上回るかどうかわかりませんよ。」と言われましたが、いただいたご指導を胸に秘め「絶対抜いてみせるぞ」と、決意を新たにしました。合宿もこんな雰囲気で行われていたことを思い出し、余裕が出来たら参加したいと思いました。

（笛川静章）

## 志摩支部練成会

### 「心ときめいて」

会期 二月九日（土）～十日（日）  
会場 志摩市阿見町鵜方公民館  
講師 中村巍山先生



熱心に練成する参加者

中村巍山先生に講師をお願いして、一日間の練成会を行いました。先生は、遠方からというのに、朝早く会場に着かれるすぐに、私たちの作品を丁寧に添削してくださいました。また、一人一人廻りながら「ここはさつきよりうまく書けたね。」「いいよ。このまま続けて。」と励ましの言葉もかけてくださいました。先生のご指導のお陰で、多くの驚きや発見があり、会員は充実した一日間を過ごすことができました。

ところで、巍山先生は今年一月の新年会で「チコちゃんに叱られる！」（NHK）の一話を挙げ、「人生に潤いをもたらせるためには、大人も子どもたちと同じように『トキメキ』を感じなさい。」という話をされました。今回、私たちは正に『トキメキ』の時間を体験することができたと思います。この練成会も来年は十周年。心ときめかせて、その時を待ちたいと思います。

（倉谷奏風記）

## 藤森博士の漢字表記にもの申す⑪

書道学博士 藤森大節

昨年、ある書道展の審査で「雪」という漢字が話題になりました。「口」の右下部分は縦画が出るか、横画が出るかという内容です。いわゆる点画の接し方ですが、皆さんはどうのように書かれているでしょうか？

まず、現在の漢字指導の考え方について確認しておきましょう。漢字指導は小・中学校の学習指導要領国語の「学年別漢字配当表」に基づいて行われますが、指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」には「学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること」とうたわれています。配当表の漢字は教科書体活字で表示されていることから、これが指導の際の「標準の字体」ということです。標準と断る理由は、標準以外の字体があることを意味します。すでに「存知の通り「許容される書き方」のことです。

では、話を「雪」に戻しましょう。「学年別漢字配当表」の字体は縦画が出る字体になつてるので、これが標準体となり、横画が出る字体は許容体となります。しかし、古典では標準体の字例は許容体よりも少なく、現在でも書初め展の手本は許容体の場合が多いようです。なぜ縦画が出る字体が配当表に採用されたのでしょうか？その字体を標準として採用した根拠が私は気になつて仕方ありません。これについてはあまり知られていないようなので、詳細は次回に譲ることにします。

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

継続は力なり



有象虹支部 中一

小学校二年生から習い始めました。苦手な文字も先生の熱心なご指導のおかげで上手に書けるようになりました。とても感謝しています。毛筆の特待生になることが出来てうれしいです。次は硬筆がんばります。支部長先生より一言 真面目に取り組む怜奈さん。おめでとう!!努力の成果です。次の目標に向かって前進期待しています。

感謝



飯田怜奈

支え



茅野支部 中三

小学校三年生の時から始めた書道、その頃は特待生なんて夢にも思いませんでした。しかし、両親や先生からの支えがあり、今まで続けることができ硬筆で特待生になりました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございます。支部長先生より一言 合格おめでとう。部活と両立させて頑張っています。これからも上を目指して続けて行きましょう。

合格



伊奈支部 中一

感謝



倭支部 中三

私は小学一年から書道を始め約九年経ちました。中学一年の時に毛筆で特待生になれましたが、部活や塾で忙しく大変でした。でも今回やっと硬筆で特待生になりました。嬉しいです。先生にとても感謝しています。支部長先生より一言 二冠達成、本当におめでとう。この調子で高校受験も頑張って下さい。次は一般部への挑戦ですね!!

二冠達成して



湊支部 中三

私は小学一年生からやってきた書道で特待生になりました。先生の丁寧なご指導や、家族の支えのおかげで、本当にありがとうございました。この二冠は、私の大切な誇りです。支部長先生より一言 おめでとうございます。大変な努力家で最後まで頑張る生徒さんです。今後が楽しみです。

私の誇り



芙蓉第五支部 中二

喜び



正桂支部 中三

感謝



松井伸

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



茂呂和奏

特待生になつて



茂呂和奏

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

特待生になつて



伊奈支部 中一

合格



伊奈支部 中一

&lt;

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

雪 国



高社支部 中三



先生のおかげ

芙蓉第二支部 中三



私の目標

久喜支部 中二

石井 董花

銀世界。そんな言葉がぴったりとあてはまる程、窓の外が吹雪いていました。真っ白です。帰るまでに雪だるまになってしまいそう。その前に遭難しそうです。暖かい教室で字を書くことが出来るこの環境に感謝です。

**支部長先生より一言** 遠くの学校に通う中、どう、大雪の中も良く頑張り見事二冠を達成しました。お家の方に感謝ですね。

### 継続は力なり



青木彩華

宮田 怜

照澤支部 中一



目標達成

内藤支部 中三

内藤麻結



三度目



皓花支部 中三

大坪千紗



二度

私は小学三年から書道を習い始めました。最初は上手に書くことができませんでした。けれど練習をして段々、上手く書ける様になりました。それは優しく指導して下さいました先生のおかげ、本当にありがとうございました。

**支部長先生より一言** 二冠達成おめでとう。高校受験が待っています。こつこつ頑張る佑衣ちゃん。大きなご褒美が待っていますよ。

硬筆に続き、毛筆も特待生になることができました。両方特待生になることは私の目標だったので、指導して下さった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、苦手な行書に挑戦していきたいです。

**支部長先生より一言** 二冠達成おめでとう！部活で忙しい中、よく頑張りました。さらなる目標に向かって精進して下さい。

僕は、習字を習い始めて八年経ちました。自分の書いた字に全く納得いかず、何度も書き直しました。先生のアドバイスを聞いた後、書いてみると、楽しく、上手く書けました。先生に感謝し、自分を褒めたいです。

**支部長先生より一言** 照澤初の男子特待生。怜君もうれしいが、先生もウントウントウントうれしい。おめでとう。

小学生からの目標であつた特待生になることができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。書くことが大好きな気持ちを今後も新たな目標に向かってがんばっていきたいと思います。

**支部長先生より一言** お習字を書く時の真剣さは小学生の頃から変わることがなかつたね。特待生合格おめでとう！！

二度特待生試験に落ち、「三度目の正直」と出るか、「一度あることは三度ある」と出るかとてもドキドキしていました。結果、「三度目の正直」と出たので本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

**支部長先生より一言** 苦労したけれど二冠達成おめでとう。千紗ちゃんの人生に、書道は寄り添ってくれることでしおう！！

### 目標



霞ヶ丘支部 中一

山田 愛

### 感謝の思い



中野支部 中三

海野真大

### 私の楽しみ



東陽支部 中三

井田愛美

私は小学三年生から書道を始めました。やつと目標としていた特待生になることができました。日々お世話になっている先生方に感謝して、硬筆でも特待生になれるようにこれからも、頑張っていきたいです。

**支部長先生より一言** 太く力強い文字は、静の中の強さからだと思います。剣道からくる集中力は、すばらしさです。

小学生の頃から書道を続けてきましたが、特待生は僕の目標だったので、とても嬉しいです。今までご指導をしてくださった先生や、毎週送り迎えをしてくれた家族に感謝の思いを伝えたいです。ありがとうございました。

**支部長先生より一言** もの静かな真大君、字には線の強さとやさしさが出ており人間性が表われています。将来が楽しみです。

小学一年生の時から始めたお習字は今では私の大きな自信になっています。今回特待生になれたのは色々な人のおかげなのでしっかりと感謝してこれからも続けていきたいです。成瀬先生の所に通うのは、とても楽しいです。

**支部長先生より一言** 休まず通つて来てくれる愛美さん、もう高校生ですね。これからが楽しみです。ゆっくり、じっくりと。

# 少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

有象江支部  
中一度  
易流良



若竹枝部  
中一小山  
央光



央洸君は頑張屋さんです。書道の他に珠算と空手を習っています。どれも上手で空手は大会に出場する程です。今年の書初め展では特選を受賞しました。

正樹支語 小六 富澤栄



校用支部  
小六  
河合孝昭

光ヶ丘支部



小小四二  
蓮蓮尾尾紗結喜彩

小小  
四二  
蓮蓮  
尾尾  
紗紗  
幸幸  
です。 四人兄弟の長女さゆちゃんは、妹の面倒を家のお手伝いが上手です。妹のゆいちゃんは、甘え上手なので上級クラスでは、アイドル的存在

中野支部  
五一 横樋 口口 愛 莉葵

A black and white photograph of two young girls, likely sisters, standing side-by-side in front of a chain-link fence. They are both wearing dark-colored jackets. The girl on the left has short dark hair and is looking directly at the camera with a slight smile. The girl on the right has longer dark hair and is also smiling. The background consists of the wire mesh of the fence.

平成支部 小五 星 見 結 雪  
黙々とお稽古しています。音楽も好きだそうですが、時々びっくりするような素晴らしい字を書いています。休まなく通っています。益々上達するようになります。

峰支部



有穗支部

陸上部でもがんばっています。瑞貴さんは習字教室を明るくしてくれる生徒さんです。落ちついて書けるよう、これからが樂しみです。

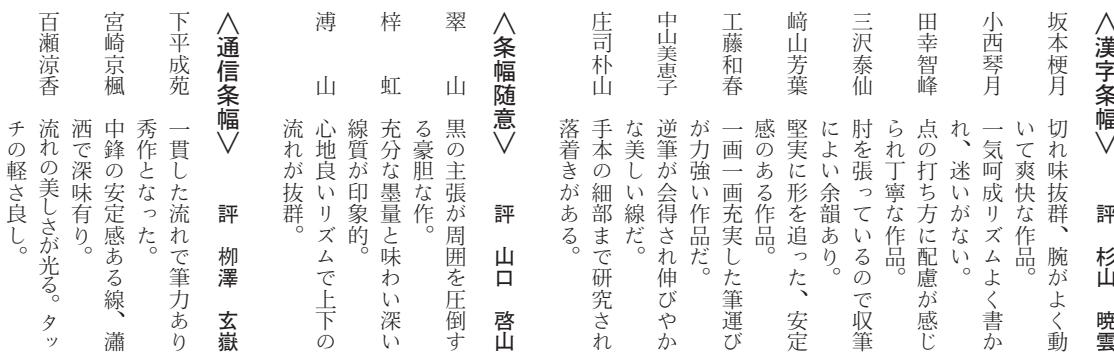
小四 渡邊 瑞穂 華瑠  
姿勢の良い二人、瑠華さんは静かで落ち込んで手本に忠実、璃瑞さんは、活発でのびのびした字を書きます。二人共、体育が大好き、楽しみな姉妹です。

名東支部 中二近藤咲季



中学校ではバドミントン部。丁寧でセンス良い咲季さんの書は小学生の時から数々受賞し、毛筆特待生。勉強部活で忙しい中、次は硬筆特待生を目指します。

今月の優秀作品



△漢字条幅▽ 評 杉山 晓雲

坂本梗月 評 杉山 晓雲

切れ味抜群、腕がよく動いて爽快な作品。

小西琴月 一気呵成リズムよく書かれ、迷いがない。

田幸智峰 点の打ち方に配慮を感じられ丁寧な作品。

三沢泰仙 肘を張っているので収筆による余韻あり。

崎山芳葉 堅実に形を追った、安定感のある作品。

工藤和春 一画一画充実した筆運びが力強い作品だ。

中山美恵子 逆筆が会得され伸びやかな美しい線だ。

庄司朴山 手本の細部まで研究され落書きがある。

△条幅随意▽ 評 山口 啓山

翠山 黒の主張が周囲を圧倒する豪胆な作。

梓虹 充分な墨量と味わい深い線質が印象的。

溥山 心地良いリズムで上下の流れが抜群。

下平成苑 貫した流れで筆力あり秀作となつた。

宮崎京楓 中鋒の安定感ある線、瀟洒で深味有り。

百瀬涼香 流れの美しさが光る。タッヂの軽さ良し。



中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空
一松 師 恵達	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
平成 第8回 明治	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
京都一雅 諦見 藤野佳恵	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
鐵道 師 竜草	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
伊奈 源葉	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
康 絹	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
葉 草	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
雅 染	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色
明 桜	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色	是故空	中無色

爽 惠  
迫力のある作品で一気呵成に書き上げた。

明 桜 貫通力があつて焦点が定まつた優秀作。

三 行 速度感のある筆遣いで渴筆も効果的。

真 静 線の細太や遅速緩急を上手に駆使した

雅染 文字構造に余裕を持たせ明るく仕上げた。

脇野佳恵  
誠実な書きぶりで田頃の成果を發揮。

葉草自由奔放で作品に躍動感あり。

長編が美しい作品で、多忙感は薄れています。

△仮名▽ 評田中珠光

小林富靜  
全体感良く、渴筆の使い方が上手。

宿谷硯心 やさしく穏やかな作品。配置がよい。

伊藤喜咲　料紙への墨ののせ方がよく出来た作品

増山 静敬 手が大きく動いて、ゆったりした作品

大井沙雪 運筆よく、線質よくこなれた作品。

百瀬涼香 淡々とした筆遣いでよくまとまった作品。

渋谷啓風  
しつかりした強い線で力強い作品。

栗原明麗 素直な線で上手にまとまつた作品。

小暮静翠 軽妙なタッチで潤渴のすばらしい作品

藤牧峰雪  
やや小振りで、全体構成がよく調和し

山下木華  
焦点が明確で、見せばを心得ている。

直井景光  
流れよく、余裕を感じさせる作品。

直井景光  
流れよく、余裕を感じさせる作品。

学生部

評 江上 玄光

佐藤璃乙 五文字のバランス、まとめ方がよい。

星間瑞希 やわらかな線質で悠々とした作品。

茂呂和奏 漢字とひらがながのびやかな線で調和。

宮脇和奏 位置よく大きさよく、形のとり方見事。

杉山知優 ていねいに形よく四字をまとめました。

佐藤七海 一点一画に集中して書きあげました。

古内亜香里 堂々とした書きぶり。名前もていねい。

添田春佳 漢字とひらがなが調和していて美しい。

澤本みなみ 大きくのびのびと、形よく書けました。

望月深緒 堂々とした書きぶり。名前もていねい。

関口一慧 ゆったりと形をととのえて書けました。

佐竹由莉乃 四文字のバランスがすばらしい。

廣瀬 楓 どっしりと力強く元気よく書けました。

星野遙香 形よくのびやかな線。名前もじょうず。

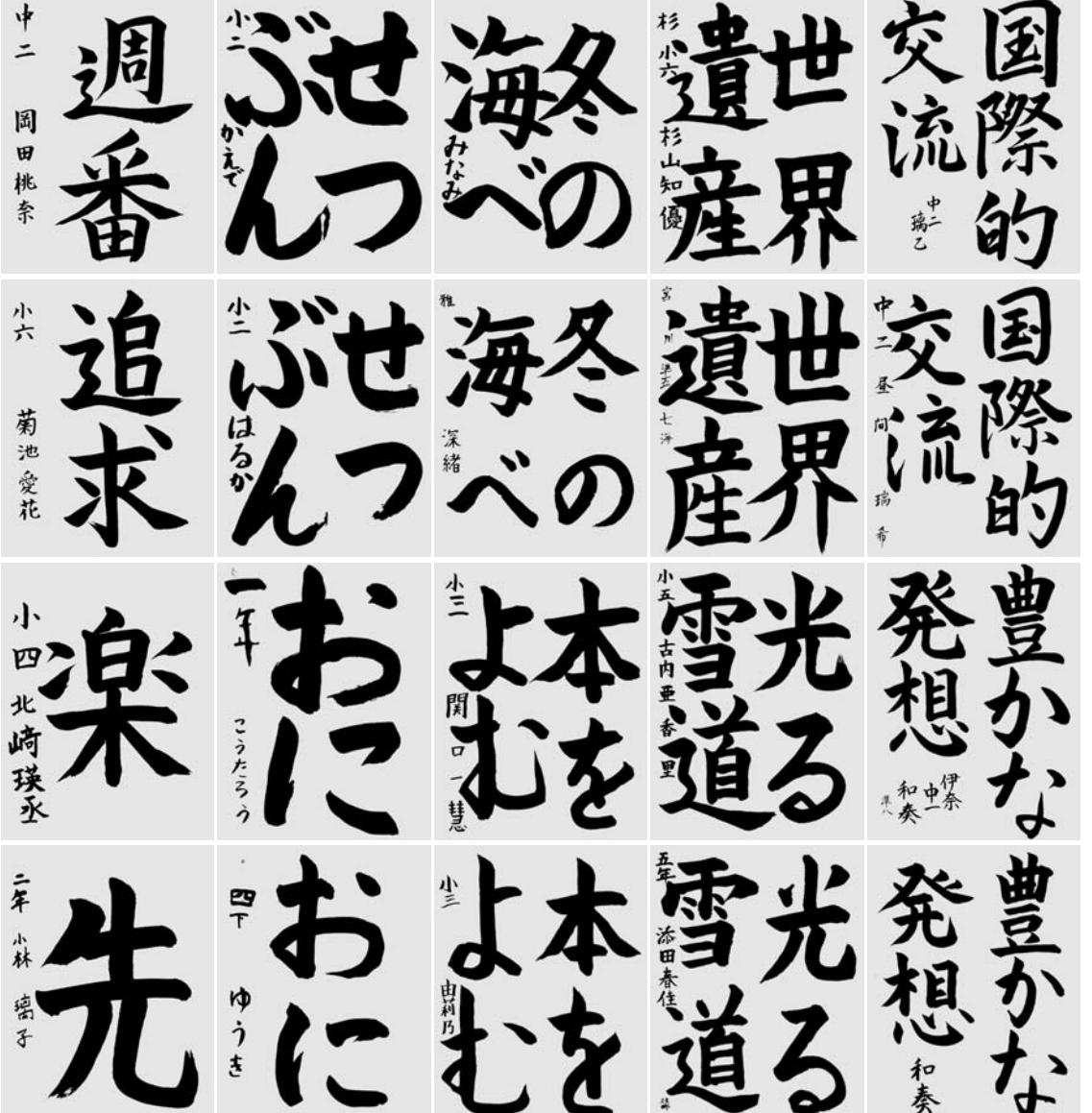
山田浩太郎 げんきいっぱい、つよそくなおいです。

吉村優来 ゆっくり、ていねいにかけましたね。

岡田桃奈 一点一画、丁寧に流れ良く書けた。  
菊池愛花 静かで落ちつきのあるすぐれた作品。  
北崎瑛丞 明るくのびやかで気持ちの良い作品。  
小林璃子 始めから終わりまで氣をぬかずりっぱ。

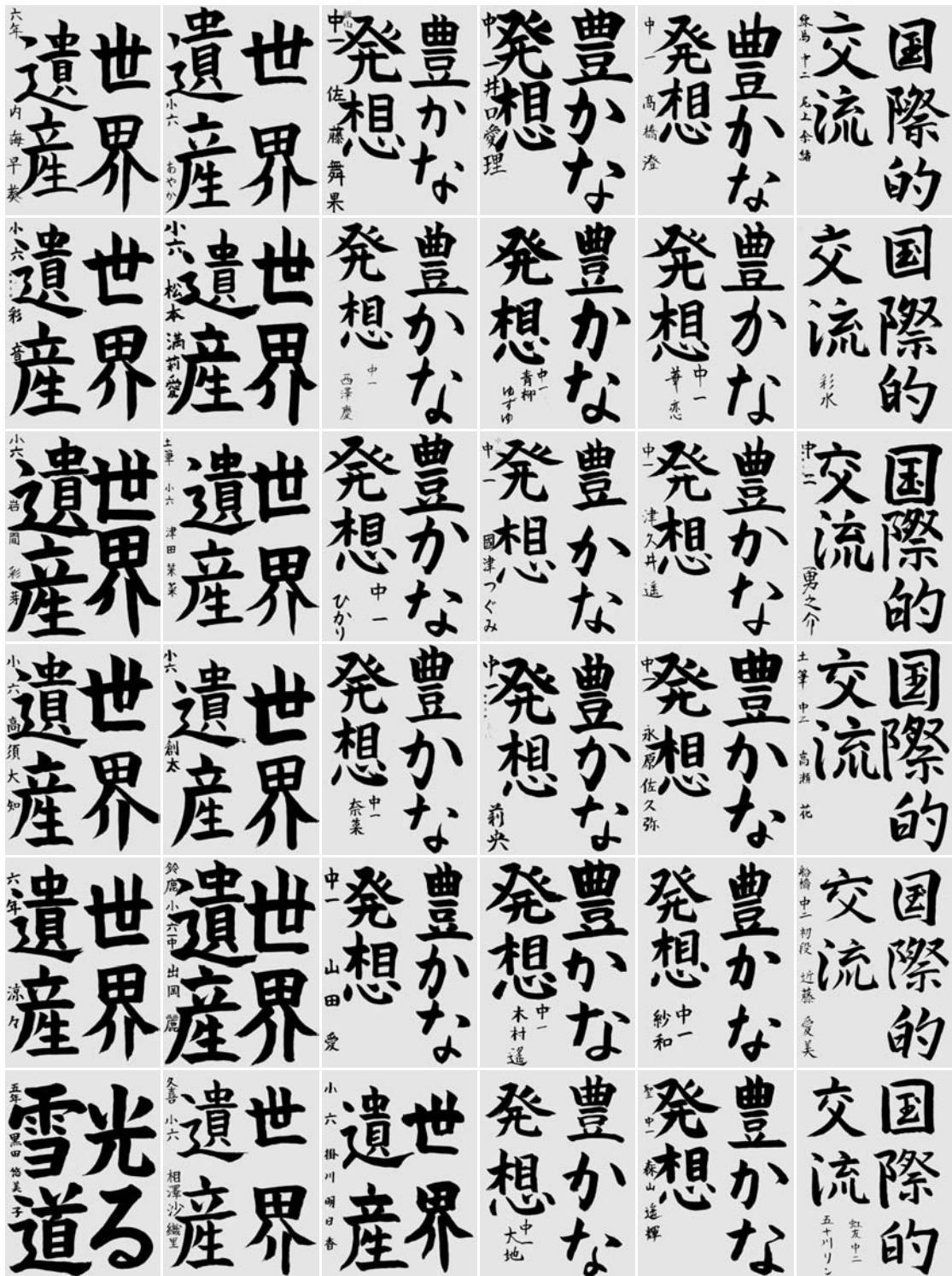
半紙隨意

評 杉山 窓影



このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。

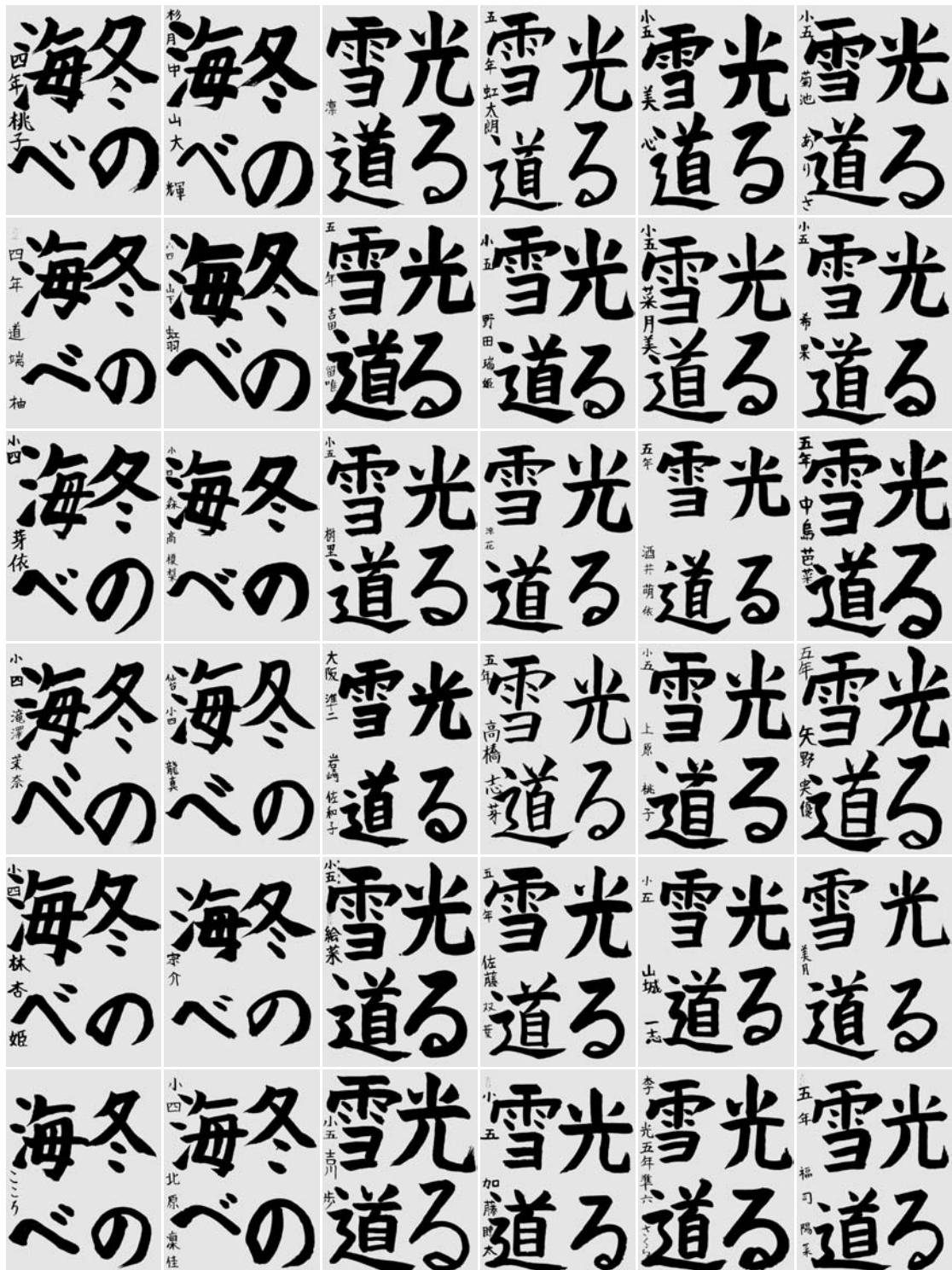




【小六】 霞墨 汀楓 長壽  
【小五】 千曲 瑰扇 華雪 久喜 鈴鹿 光丘 土筆  
那美 東名 美菜

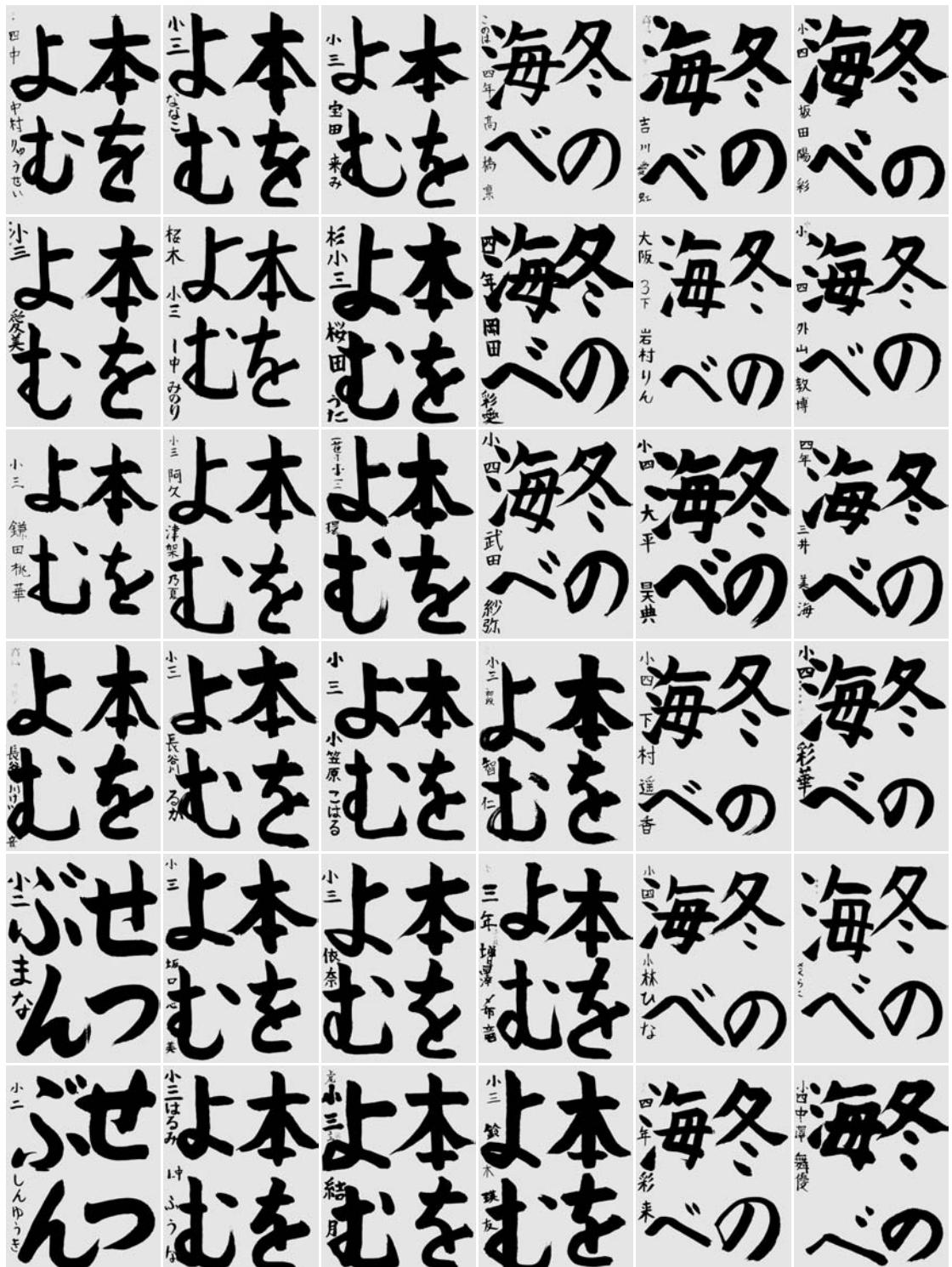
掛川明日香  
高山綾花  
松本満莉愛  
津田栞菜  
和多田創太  
出岡麗麗  
相澤沙織里  
江良早葵  
内海彩音  
岩間彩芽  
高須大知  
跡部涼々  
黒田悠美子

虹苑	中二	毛筆
土筆	三	練馬
華雪	尾上	珠紅
船橋	今井	彩水
高瀬	加茂勇之介	奈緒
近藤	花	高橋
五十川リン	愛美	登



【小四】 倭名東 研硯 華雪 大阪 龍文 大田 みなみ  
この 神奈 玄様 書之 光丘 秀雪 皓花 高社  
正桂 美二 青雲 李光 富士  
北府 研 砚

菊池ありさ  
三上希果  
中島矢野  
岡村福司  
芭菜美優  
小林美心  
陽菜美月  
藤田菜月  
高橋酒井  
志芽萌依  
涼花桃子  
野田みづき  
佐藤上原  
双葉一志  
齋藤虹太郎  
高橋豊田  
志芽山城  
涼花中川  
双葉中川  
双葉駒ヶ嶺  
志芽野田  
双葉吉田  
涼花内田  
双葉岩崎  
涼花吉川  
双葉大輝  
双葉山下  
双葉虹羽  
双葉柚木  
双葉杏姫  
双葉宗介  
双葉森高  
双葉北原  
双葉岩崎  
双葉大印  
双葉道端  
双葉岩立  
双葉滝澤  
双葉林倉澤





さわ	伊得又鶴華	紗来絆	清水	石井	東本	高木	藤木	佐山	玉川	佐山	北地	航大	黒澤穂乃佳	鎌宮	幹太	美貴	鈴木	心結
北府	若宮	華雪	瑞祥	星皓	中野	瑞秀	皓花	有穂	芙五	名東	霞墨	秀雪	瑞祥	好野	茅野	練馬	源創	和宮地
竹華	北	若	華	星	皓	瑞	皓	芙	芙	山	山	秀	瑞	皓	茅	房	溪	美墨
さわ	北	若	華	星	皓	瑞	皓	芙	芙	愛	愛	雪	祥	花	野	風	月	竹華
小	一									月	東	東	代	代	島	木	月	美墨
さわ	北	若	華	星	皓	瑞	皓	芙	芙	名	霞	秀	瑞	好	野	藤	源	和
北	府	若	華	星	皓	瑞	皓	芙	芙	東	墨	雪	祥	花	野	木	創	宮地
竹	華	北	若	華	星	皓	皓	芙	芙	中	山	秀	瑞	皓	茅	練	地	美墨
さ	わ	北	若	華	星	皓	皓	芙	芙	野	愛	雪	祥	花	野	馬	源	和
さ	わ	北	若	華	星	皓	皓	芙	芙	野	愛	秀	瑞	花	野	藤	創	宮地
さ	わ	北	若	華	星	皓	皓	芙	芙	名	愛	雪	祥	花	野	木	地	美墨
さ	わ	北	若	華	星	皓	皓	芙	芙	東	愛	秀	瑞	花	野	木	溪	竹華

あ	と	お
そ	た	正
ん	こ	月
だ	あ	に
。	げ	と
ね	を	も
た	し	だ
は	て	ち
し		
め		

あ	と	お
そ	た	正
ん	こ	月
だ	あ	に
。	げ	と
二 三 千 年 古 事 記 の 中	も	も
。	を	だ
一 二 百 十 九 章 の 中	し	ち

文字は、正しい筆じんで  
書くと字形がととのえや  
すくなります。

清流のほとり、雪をかき  
分けて、冰きのとうが見ら  
れた。春は近い。  
名前 滝田 莉乃

我々にとって最も大きな光景は一度  
も失って一まいといふ二三の方はなく倒す  
度に思ひ起らるゝものである。

あ	と	お
そ	た	正
ん	こ	月
だ	あ	に
。	げ	と
の ひ が し 本 べ	を し た て	も に ち

お正月にともだち  
とたこあげをして  
あそんだ。

文字は、正しい筆じんで  
書くと字形がととのえや  
すぐなります。有史  
名前 南保  
葵音

清流のほとり、雪をかき  
分けて、ふきのとづが見ら  
れた。春は近い。秀吉五郎/喜  
熊本あい

我々に与て立派な色彩は、一度失墜してしまつてはならぬ倒れる度に必ず起らるゝことである。 小早川 茂

あ	と	お
そ	た	正
ん	こ	月
だ	あ	に
。	げ	と
井	を	も
上	し	だ
中	て	ち
下		
か		

あそんだけと月にあげときもだち

文字は正しい筆順で  
書くと字形がとのえや  
すくなります。  
書てのまゝ四年卒業  
西村友翔

清流のほとり、雪をかき  
分けて、いきの一つが見ら  
れた。春は近い。八潮  
名古屋野結菜  
春津三郎  
秋山

生涯実物を見ることはない、と思ってい  
た顔真御の祭文稿が東京國立博物館にや  
ってきた。 見ゆる。 (北斎原版)

硬筆

八潮	秀雪	光丘	新城	霞墨	小五	東陽	名東	北府	小平
鹿野	熊本	滝田	菅谷	瀧谷	細野	細田	中日	中日	中日
結菜	あい	莉乃	優羽	優衣	文香	夏歩	真央	杠華	杠華
						遥			

文字は正しい筆じんで  
書くと字形がととのえや  
すくなります。有德  
吉田八郎著三編  
佐山優音

清流のほどり、雪をかき  
分けて、ふきこのとづが見ら  
れた。春は近い。

清流のほどり、雪をかき  
分けてふきのどうが見ら  
れた。春は近い。  
新歌  
大正六年  
大正六年  
名古屋市立音楽館  
菅谷優羽

珠	中	悠	野	練	馬	皓	花	北	府	凛	心	小	一	書	之	有	虹	若	松	有	穗	杉	一	葉	華	雪	平	成		
井	東	上	本	高	橋	杉	山	安	村	杉	山	二	二	西	村	南	保	青	木	佐	山	坂	田	中	屋	敷	瑞	希	三浦	航太郎
幸	紗	香	英	夏	芽	心	瑚	謙	伸	友	翔	結	音	美	鈴	蒸	音	優	音	史	佐	々	木	春	奈	葉	華	雪	平	成
幸	香	英	夏	芽	心	瑚	謙	伸	友	翔	結	音	美	鈴	蒸	音	優	音	史	佐	々	木	春	奈	葉	華	雪	平	成	
幸	香	英	夏	芽	心	瑚	謙	伸	友	翔	結	音	美	鈴	蒸	音	優	音	史	佐	々	木	春	奈	葉	華	雪	平	成	







若游葉六玄 東	葉神靜花長港玄	瀨大	富	サ	玄	上	玄	八山白玄唯葉六巍城
松墨月会黙 準根	月奈 象野南黙	戸泉 貴	ン	樸	尾	心	南	愛山心心月会山彩
秀師								
由游和ふ斎範	紅陽真ま慷慨小翠靜慶四竹白一陶五草弘友喜典萌明華藍詠美直里久美春小め柚康康	勇希春瑛照廣聰	美貞真見					
じ 佐す		美	ぐ	忍		奈惠	有	
紀恵子枝花	雪子子子泉翠花千子葉心羽風華代竹子梅春子泉笛英花舟砂子絵子舟里楓み香仙蟹惠	峯紅信華節峯子子	子松美紹					
茜	土	志小若有信八草	高若長靜産美蔵有八國白京小玄茅聖志靜龍玄蒼玄文志	雅書玄志文有志京書華源皓	御若龍巍			
曜	摩平竹象大戸	風宮野 吉菜	象潮府岡都光黙野 摩 文黙穹樸化摩	基	之心	摩化象都集雪創花	牧竹文山	
茜花蘭聽雪木憧節梓光翠真白梗映江琴霽惠香逕雅玉邦小光峰花汐静映天秀袖曉涼	本							
沙仙月月園華月城虹扇桐志葉紗春静月月香窓月華泉楓琇弦瑤香秀雪遙麗香麗華		雅奈美涼麗麗真典谿華澄皓恭貞裕信伊	登					
桜	若東	桜茜港西	静京巍乙野	御白笠大巍飯長國珠千房李若巍藏若龍玄靜巍	雅書	""	桜若玄	桜小巍
森	竹根	森 南	都山訓辺	牧岡原手山田野府悠曲風光竹山吉	集		森竹黙	森平山
彩鐘京秋白豪文溥廣西空谿優静	小尚淳鐘貞朋湖光貞成靜景知靜汀李咲翠琴惠憧映穆秀霞	究						
紅仙月河水峰嶽山山沙真沙月思	映山子洞泉月泉亭風松苑千草子志霄光紅山月香光雪舟峰菖							
"巍"	若巍御若靜美巍書靜信文墨玄上石優書	"瀨玄白葉靜"	"長平石白土巍青茅聖若	白中	志童玄伊書イ巍			
山	竹山牧竹	苑山集翠大化心樸尾峯生集	野成峯岡曜山雲森野竹	山野	摩 横奈集奈山			
霞霞恭太小貞尚靜沙茜雨靜梓麗翠康由桜愛草友喜光玉壺静杏文靜皓照瑤朋花貞竹劍志花憧	香	研究						
泉菖月一映月月花雪草虹翠虹爽溪法春里子鈴竹梅春紗泉水秀静静澄靜唱悅月泉仙松虹山豊瑠月		照肖聽汐翠統菜雨康霞劍	久					
磯若葉中石東平樅柏	高虹高雅玄大白	"サ美入芙蓉船美新麗巍柏"	笠磯大玄八雅東玄富大	若"大若高"	茅巍書			
辺宮月野峯陽成友芳	準風友風	樺阪岡	ン菜間容月橋五城墨山心	竹	象竹風	野山集		
葉竹三藤菅山明関己段	高滝小雅太田香星伊香松山空明琴敬茂和紅古室泰古雲珀谷清三濱俊萌	段						
前原原田根	瀬林	田中野藤田田	田賀賀屋	地永宅田	汀佳西梗白峰正晚翠谿			
蕉梗行鐘彰敦麗花芳	月響真染荷満扇早と織眞霞正惠三子尚彩川晨綾芯柚葉峯舟春雅健綠瑛泉				心影光月葉弦純道山祥			
墨桜大中柏信妻霞葉靜瀨暎映綾源柏	新游櫻游櫻大中磯平聖有自玄	"新書柏八靜瀨若霧	若麗志董映霞玄靜玄愛	"新錦書笠				
洋森阪勢心大科墨月	戸心華創芳	准城墨森森阪野辺成	象產黙	城集心戸	松訪四松墨摩	心墨樺	嶽心	城黃集原
千奥莖桂翰山春桜村赤弘畠映久岡成段	渡征百周平松尚井明碧夕淡礼木松和熊合工吉加小新段	衆倉い映雪白小湖繪川摩菊翁百						
原田井石澤山	江澤辺瀬藤林田上	内下田田葉藤澤藤倉田	田谷ず	井嶋	本池瀬			
波終玉舟高瑠晨愛み子賀笙恵邑衛	晴光白文桂司葉桜瑠節愁山日永麻谿詔和静五由立	蕙羽參み祥霞め静葉里佐紀錦彩雅						
大大桜半笠暁葉高静	六春八有東文	玄大サ玄曉長静京正	"四東書八有	高珠富書大葉硯寶柏中書梶野静杉	大書杉雅信			
阪象	準森田原華月風	二会玖潮象陽化	黙象シ黙華野	都桂 谷陽泉戸象	準風悠貴泉阪月	春心野之友辺	三阪泉	大
☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆
伸渉段湯丸渡喜真中玉段	布節吉永祥節薰南久丸上八美長和樂高渡江	櫻夷佐	半藍及吉笛真裕絃佐梗東楔林吉	段	林須娘雅佐	竹		
谷田山辺久佐本井	田井	保子原千谷	谷辺上里田	孝田	瑞本玲田	珠藤	久澤	
珠濤坂洋真男子裕麻	恭雨兔麗己舟禾花田い章代香川代明景琇惠小次節	美知香翠珠芳理美舟木翠巡淳奈煌			怜香舟楓間香			
霞映有静櫻八桜八伊新笠華	長瀬游京游玄柏靜若碩伊須櫻	若櫻"笠葉靜曉霞游北八	中大花玄須大八	"	"葉長柏有			
墨特心象	森南友潮奈城原雪	野戸墨特都墨心	竹雲奈坂森准竹	原月	月墨	月野阪象嶽坂象戸	月野芳象	
○1	○○2	☆☆初	☆☆三	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆
湖級中静蒲田落柏仁林神市華大手吉神級	中青望小伸相欽黒富碧	段柄浅石手ま武原神友江	段山濱藤華白水	小知啓鈴渡白相黑大				
川原中台崎平か林川島塚原山	野木月林原	田澤澤野井塚居崎子	戸田田木笠	木辺井木岩住				
堂珠節美孤江と賀お桃沙慧紗真禮	恵由清柏予造景智空	憧憬洋和希子典曉田子那恵	栄珠花葉智煌原真子敏陽美完玄					
暁大	大瀬櫻有錦綿	"こ静大小石若書杉八大	大若大須書珠信大こ美	有様玄富"笠	珠柏長美若	長富柏	長游麗	
月阪5阪戸森象黄戸	の象平4峯竹之	南阪3竹阪坂集悠大阪の菜	2象森嶽士原	悠芳翠二駒	1菜野士芳	二野墨		
○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○
藤岩級落林丸麗齊磯高佐宇鹿島唐和翠紅江妹上福級	清後本朝丸伊廣森級	歌鑑松坂小山津半松孝刈真	級大宮秋羽小中游					
高平村合梨山藤田本橋藤坂島津	尾鳴田水藤多	口藤中爪齋	倉澤齊浦口田田井込	橋島田出西田				
朱真良香強竹美ち晶綾智里美未	由幸水流蕙睦聰訓	憧田智子莉均千里千	節師翠和祥文恭菜才翠湖花	霽代龍友智真倫				
新高有文さ若こ倭	五行	"桜笠松曉"葉大有	"巍北美玄"暁宮小サ杉八有	玄笠"暁港游港	大蔵サ珠"暁源玄磯	大		
城風象化わ竹の		森原代月8月	象山府菜心月川平シ	象潮7樺原月南墨	月南墨原阪6	シ悠	月創横辺阪	
木北清大田梶柄橋西段書		○	○	○	○	○	○	○
内藤兼任住村原澤草村		桐降古美後宍善級	岩西須伊頌藤美阿周井岸寺邀齊節	級加上後唐慶赤窓百宗	級閑保奥林稻大一能木			
日照実玄久節紀里宏		原幡田智藤倉	崎山田登	本佐部吳戸野本藤	藤條藤木井瀬玉	文坂手慎垣西	勢下	
"高船産玄大高蒼櫻中四	"サ"静正北大宵若松秀瑞サ半土宮	"華高八瀬光"碩飯成宮杉柏磯北笠月倭	"杉横"北名					
風橋吉準心阪風穹花野谷		山桂府阪月松戸雪雲申田筆地	雪風南戸丘	雲田城地二	心辺府原	二	府東	
中佐木段	武唐井春佐主友松星伊佳今小宍田長小杉篠小節丸	中梅華小山石鈴土馥充敏信鈴友合酒穴理忠城娘青田指佑	大本孝村原	田居川上々里田野藤井林戸中山田本坂	山武野忍原林元黒木屋	木葉井戸	木木島田希津	
裕美友昭し弘哲真美木朋江真早と鳳秀智羌滿専由祥秀美舟洋	真	華詠真聰民俗さ郁代美子盛美詔尚千紗男靖舟響盛恵子伸						
玄雅信国名倭皓玄静平	茜高秀綾霞宮	花月"大"こ"土"平笠華大笠龍書城四硯水八書須京倭	"柏笠有文こ梶玄"華					
燐大府東花嶽成四風	雪華蓉墨地苑阪の筆	成原雪象原文之彩谷	代戸集坂都	心原象化の友燐				
橋原佐保上熊沖坂望玉三段	吉中川井小川服牛大北增林田清高和咲夕幸宮森久白信岸平竹木柴工高富中小綵小古永生松柏藤め華立	立口久谷田切真腰月井田	田本口上潤名部丸島村子珠中田橋	沢清保日	波田下村田藤橋澤野田	林田井野本崎林ぐ		
親佳間錯尚夢由儀清麻篤	富裕水典千弘佑和紗す君怜彰品智美依佳子き石田紅夫男真恵早礼和真智恵昭舟柏和麗麗縫と孝み輝							
横芙蓉玄八美杉霞	杉高新高玄文"新杉"若小船中柏	成吉笠華大笠榉沙"玄竹"秀	玄中長青美一名葉飯珠美小玄四八練信					
二二心南菜墨	準心風象化城	松光橋勢心	城祥原雪象原森羅	燐華雪	心野野雲二葉東月田紅二光樸谷南馬大			
熊刈若新山圓珠段	杉岩川久漆節神重長加谷中棍桂田桑中八林染齋上湯富原藤青伊鉢田南越中城堀拍諷鈴佐恒鳥淺穴光南鈴山							
谷込杉保田藤村井鍋末谷	林松南藤通島谷	中田野木由谷藤條田崎誠山木藤木川條川谷西越野	訪木々吉部野原	眞木田光湖強利霽和惠	和保麻大勝舟桃千玉昌華真理玉恵辛麻彩貴紀美聖坂則子夏清優納美成裕美智好瑞花彩敏木櫻幸昇義瑛知こ高			

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

葉長書花半瀬瑞横錦玄柏珠書大若玄横秀八月野之苑田戸祥二黃心心紅集阪竹黙二雪南	北和宮蒲宮錦"北港玄久李一水倭美青六葉光磯若中静玄産"大皓華桜高華北茅 府川田地黃府南黙喜光絵代菜二雲会月丘辺松野山樸吉阪花雪森風雪府野
柴寺岸北丸石名高菊越小珠畠林清天田甘落段登大井松信須宍指窓南中幸礼佳楨露鈴馬布村鈴閑衆藤今太萌田岡華百蒼星吉小嶋島波村山黒橋池川林山珠水島中合志森戸本江戸田谷代田木場田石木弘田原井田中中田瀬野富林修ゆ勇す洋民琳辰錦裕柏颯和怜性盛惠江子淳坂住子錦羌患泉花美江子子靖華盛い恭愛裕子蕙鐘秀荷禾彰満み詠白風華慶則	五
文"横玄笠サ瀬港華沙汀有"八名高志笠硯水柏野"大"こ游石玄倭玄天宮八柏產杉倭中汀京玄美八松桜大有大高杉玄城"化二燐原シ戸南雪羅楓象潮東風摩原代心辺阪の墨峯四心黙象地戸心吉勢松都樸蓉南聲森阪象象風嶽彩	五
節高熊原長宮平磯慶華富植永仁鉢教小倉白木柴田榎吉伸松橋長杉段坪冲頬済牛工織遠鈴小桂明中川川南武湯歌久佐吉松平鈴柳谷誠南沢山村崎村井平木林谷日村田中本村本爪竹崎内真谷丸藤峰木田野田名眞田田居保孝田澤田木舟満光子玉き慶ち子輝則萌麗賀彩子真奏紅早礼惠淳珠珠綾里雅翠廣由山濤和舟櫻蘭昭玉美恵か弘知ミ坂弘節田美煌翠真敏	五
綾玄"中こ四宮玄大若文志""横晏飯小こ若土書竹八華玄四笠大"華杉美玄高勝大長游若秀長梶玄華富杉美光雅笠華静華機野の谷地耀阪竹化摩二墨田平の松筆泉華戸雪耀谷原象雪二點黙準木象寿墨松雪翠友樸雪貴二丘原雪	四
小蛇中翠高竹都藤濱真生山赤佐古齊宇完岸清谷亞及理江門坂渡歌齋森華圓刈月中段山小柴游加井大柏穴本安杉鳥友中原林染赤瀬川嶋橋下竹山田由野本澤藤矢藤留野田通利川戸脇本辺田藤清藤込本崎口寿藤上池崎原間村部野島口由谷澤千梨志白智惠夏珠麗伊峯花蕙賀澄晶華沙翠香恵里ゆ琇円美石湖と河性裕晶華雅真昌典久と義由夫和幸和礼佳貴紀み	五
小八有""笠大柏華原美玄暁雅石柏玄八秀桜皓星萬中四和優桜玄笠書八珠新麗小須笠富杉靜皓星倭"美三"暁信柏竹練龍平戸象原象芳雪創苑嶽月峯芳模潮雪森花二野谷生森耀原三泉潮紅城墨光坂原貴翠花菜池月大房根友馬文	五
鹿小小市石上林真森大沙望周玉唐黒泉倉鈴奥田田柏中高松宇碧松上段鎌中恒川高中富渡奥煌伊坂根森森大溪藤ア佐成久佐吉島笠林川井村照篠田西月吳井津岩さ木原中村野谷杉木田井條上川吉鍋田島澤辺崎勢腰本知霧橋平部久澤保々タ彩未原晴沙和美子良由良蘭清婷カ由完ら子ナ格文光瑞美景孝川空法聖小美櫻麻倫眞智眞と心崎儀和子千霧風朱遙間衛多木真	五
信秀笠富観小国こ大愛大玄書勝和さ玄玄碩文高一柏珠中サ長光飯水高四有瀬杉"笠新星暁笠華新"長瀬松美"大"静大雪原土扇平府の阪心阪二樸集木わ心燐雲化風路心悠野ン寿丘田代風谷象戸原城準月原雪城野戸戸生阪	三
山稻猿米古山保多廣鬼後段高小田田豊雅下土越北一小津湯丸寿高勝水清圭近安六宮手村松段上後山斎重中手吉金鉢一松草武蒲田見田田屋中谷賀中十藤橋山部島泉枝屋谷藤糸林木本子檣野兼藤藤波原塚山原久藤村藤松西塚川子木ノ田居原高千朱瀬緑笑緋谷千加田眞田恭静茉子峯さ信照ひ莉恭瑞い香裕江彩実朋節ち羅桜希由美保瑞優純千智恵眞千久瀬司玉典美	五
大秋書皓倭八優華秋笠長倭李中皓小さ柏足大信"土玄"長柏"暁産若高神秀中"柏大北平八書暁勝梶中紅靜葉芙石磯富錦阪川集花潮生初雪川原野光勢花平わ心羽阪大筆樸寿芳月吉宮社龍雪央芳象府成潮集木友野竹月二文辺貴黄	二
宗松河清河齐大段坂萩宮千原浦林當阿北真岩伊絵姚一寿寿羽稻唐大増深松田阿上荻塚竹夕小段岸原後浅山下佐福稻菊石竹齊玉村野水合藤鷲原本原島葉散田愛間部原崎藤田原海尾川部原遠越村林千崎藤野田垣藤士池井之藤宋希士由真実謹華香幸節美二恵友月紀典希和均美光枝星敬龍昌暁し東美朋美泰和千菜拓佳陽秋暁豊洋采美里幸芽光千内美	五
倚富皓杉八華小晏葉高若須玄石大紅"柏一久晴竹四長玄"美華""笠干湊玄高杉平瑞大瀬小乙葉優有美富"杉"笠北一若雲士花戸雪光墨月風松坂耀峯阪竹芳路喜美華谷翠樸二雪原曲耀風準成祥淀戸平訓月生穗二士原府路松	二
伏高渡吉田北浅米相川古田村鈴落搞平松花桜田柿藤中加谷穴中小牛小安撻林嵐目段佐小道林羽堀吉柳桟立鈴野長清手唐向鈴池田橋瀬村名澤野倉澤崎賀田木合明井井辺沼井條藤脇井畠浦山林藤口百井黒藤坂喜梨山口原本澤川木戸戸野塚澤木田武真ゆ眞部博昇節ま彩仁隆洋捷良子尚才天嵐患有理正憩立ゆ麻祥真由佳代保久信実正香游奈永紀夢加禮三智草麻日嘉香彩	二
笠文大一笠大大光霞乙東備珠"若覗倭晴秀"笠名秀大笠笠秀さ北笠大和美玄四小平珠倚赤磯晴有大美桜大珠東富玄大暁美原化淀路原手内丘墨訓根後悠松美雪原東雪阪原特原雪わ府原手二嶽谷平成悠雲石辺美穂井二森阪悠光土特樸阪月二	二
加三石森安藤山岩桜青近奥川村館長野田林森大伊妹百級鈴有村豊藤伊今向川千藤遠丸宇宮酒石松池福鎌岩半奥岩級南今林小藤藤川慶藤田本立并本柳藤手島松澤濱能活舞津庭尾瀬木田山田森藤惠井口葉井山口野下津澤永田本倉村田山野紗井慎出久智子す美幸明晨厚裕ア璃都美舞孔愛幹活花伸秀睡恭成菊直芽祐妃美啓和上和莉育如尚卓梅惠麻師真菜る英恵子友	二
秀"光東"サ練玄石大山秀唯平映大秀高和華美玄秀一高笠雅虹備唯東倭竹三奈桜若"秀神錦一若"一美名石笠北大若雪丘根ン馬樸峯象愛雪心成心淀雪社雪那心雪葉風原2苑後心光華池華森竹雪龍黄路宮葉菜東峯原府阪1竹	二
佐須頃松保杉白北中阿大原古庄山正平上白今ス成肥吉清大森級吉柳今大染ラ胡田平横柳里押柳佐須中根藤諷門倉細粉級小々田田澤坂本澤川村部櫻田本滝田體松野崎井ミ田田浦水橋田川武浪場豪谷内中井倉澤川見澤藤田里岸本訪原嶋田田山木歩半栄貴陽麻深直麻茂彩恵文夏奈天ほき直ス陽来碧弘翔玲淳裕照教ミ正孤里源円浩広真暎幸吾涼霽彩文ひ真訓愛	二
右秀横藏"宝"北若玄柏中美杉游北華石秀柏瑞神"若倭成"大珠蒲小秀中大華一汀光名"秀久須"北笠み若八富東有文雪二春府宮嶺芳苑墨府雪峯4心梓奈松城阪紅田光雪央象雪葉松丘東雪喜坂府原な宮潮士根象3	二
澤川松閥門本若林小寺坂吉小金松鈴阪安中級内佐内佐東谷松中岡木未神西兒阿古李中作水末鳥内川松森小大上北峯児吉級村口崎文田城月万林島本岡林子鳴木田部西堀藤野藤崎美澤村本下澤川島部川奈里森野田井野鍋本詩島和田爪岸木玉田琴水草子千袖ア千寿礼清智幸友海容美彩沙華由真胡葉佐由紗研沙麻原雅乃遙菜佐ミ靖棕優ま裕那音夢美美じ真美寛節	二
大亥珠高大北宝千秀若中み覗柏若杉有晴富皓た中杉一秀石宝光光国一み照八大秀宝大華光の游右高"華中倭杉大櫻象心紅風手府春曲雪松野な扇芳竹月穂美士花け央路雪峯春丘6丘戸葉な澤潮阪雪春象華雪丘け墨文風雪5央摩	二
稻松桜久三植古青門三古岩今小安杉大石池林竹平野安中浦長湯級城小中小伴岩村常土古夏鈴文長田津宇石鈴級豊大中山海丸田本未輪野田木間沢田住井林部石澤川さ内野崎樂野山下原里泉野田田屋川山木野谷村村城戸木西田村津山真加子大桂光響直翔一華佐優洋文咲慈理琴え和夏美岡美衣美亞真美亮典奈記連彗遥葵未心未川由星利恵華真麻成靖句強	二
巍サ雅倭山ン五硬桿北笠"杜美華秀"秋星光美大若龍"高杜産松華秀水星富唯飯秀千"み八大高大高華八石杉光晚笠森府原会二雪雪川丘二阪松文風8会吉代雪雪代士心山雪曲な戸手社井風雪戸峯丘月原7	二
須松清槇段筆桐丸三松益中脇石所茂西外安松掘黒新清北前級泉長宮星宮柴安三聰惠鈴山嶋秦西玉湯永山水千大上中富浅級田田永田原山浦澤田山山田健泉村館藤本内木堀水藤田水美山雄下田藤原美木下原喜野井本原田谷葉竹杉村山田惠眞雅靖憲暁峰恵文正幸離斗奈瑠叶直淳花優信宗靜敬佐友斗莉ま勝紀子健紗舞代詩ま恵み倭白文亞美芹智奈	二
信霧"玄秀書杉若練東御若杉御須美笠華宵皓倭嶼石船静名野光飯玄北華サ"さ"秀紅"瀬船李美サ美サ若"大若"若大訪樸雪之松馬根牧竹牧四坂生原雪月花山峯橋東辺丘田樸准府雪わ雪竹戸橋光墨ン墨ン竹阪宮	二
佐舒川篠翠戸曉加吉秋貞相明鑑富森百水佐岡沖清管中静諷極加三漬段小め星棍清秀有中水石水飯坂吉伊照友汀田宮竹乘弓久麗田田田藤田原澤晨瀬谷田田真原村訪本藤和田野ぐ野原水田村野黒野田井池藤里中田前田削間山美秀幸碧汀昌真河翠憧光洞智英雅百蜜み由西彰友秀彩淳政玉縁内み早節桐溪菊美民勝裕京哲と子江心満珠梗蕙千	二

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）



□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

秀雪・珠紅・珠慾・小光・城彩・松聲・知床・新城  
瑞祥・杉・須坂・鈴鹿・硯・青雲・正桂・成城・靜翠・石峯・泉華・仙台・蒼穹・大象会・たけのこ・竹華

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

三準四八	準二三準	準準準準七準	七特	3 1 初	三	2 2 1 1 特特特準	準五二準準六	準七	特準	
段四段中	二段六	五六七八六段七	級待	△有級段	段	下中下中2下上1	2 1 2 四段	五段段五七段	七段	
佐川近	新米出	柿遠田原小新小宮田	二北筆	毛支鴨佐南山野	高石	依鴨原井佐南南中福渡大山野	高大棚渡石生	飯伊大	有毛筆支	
山久藤	水田出	倉口澤藤鍋田野田林田中ム	部原藤保崎本	井上田原田原田	井上田原田原田	保保島岡邊野本	草澤邊川形口	田藤草野	佐川近	
優保	優咲莉	克湧咲光美惺麻春莉恰藍ハシ佳	航創	航創	航創	惟希侑航乃慶創葵日武	美里優光美龍大琉愛江真愛怜拓悠	飯伊大	佐川近	
特特2	準二三準初準	三四	準五準特準三準特準特	8 準	8 3 2 準準3五四特	3特準準	8 6 4 4 4 3	6 5 4 準準		
1 2 下二段	段四段二段	五段七	2二段五八待	待	右級三	下中中初三下段待	級1三六	級八	下中下上	
☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	○○	毛文新☆	優級1三六級	○○○	○○○	上中下初三	
片松半金清	林笠山林金手菊	田石松藤永菊伊	古中千天明	筆部	千天明	天武天川山野川大	毛生筆	硬千天武天川山野川大	毛生筆	
岡本沢水啓神口田光塚池	本野原井池藤水河尾山	尾山	明倉部	明倉部	明倉部	合倉台本代合嶋	小東佐井出山佐	三山成	小東佐井出山佐	
碧彩遼優	太万莉心芹	絢真あ夏颯萌舞樹愛純若優	五唯	五唯	五唯	五煌姫唯愛零菜沙碧	島嶋山田口縣	輪輪田田島	輪輪田田島	
7〃	6 6 6 6 6 5	5 5 5 4 4 4	4 4 4 3 3 4 4 3 3 7 5 4	2 3 1	特三初準橫	4特三	4特三	7 6 6 5 3 6	4 4 1 1 1	
上	中下中上下	中	下中下中下上中上中	下下上	1上	1初段二浜	級1二段	2二	下下中上中下下	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	△	○○○	○○○	
元阿渡森	森磯服佐吉尾	守中守小栗伊田園畔畦藤	今服松荒竹	橋伊正前	宇高井中	笠松藤原本	毛光筆	大字田半金井	高成濱河清	
吉部	迎井重田	部藤悠田形田屋野田	貢中山本池原津部崎巒	卷宗	宗爪賀田1田支	田取日山本原井	富鈴白佐支	大字田半金井	高成濱河清	
令海杏	望花華楓大翔	愛理知貴田佑希鼓希玄明玲	陸碧陽真貞昌慧菜響果	下咲部	川愛紗ゆ万	夏風萌原川向	元木佐今関神元	大字田半金井	高成濱河清	
大愛る	雄智智翔	建瑞直連惺結み珠紅瞳真沢大由	愛結紹華亞さ	玲澤美妃	玲澤美妃	清かあ結め	吉師志	大字田半金井	高成濱河清	
準準六	6 5 5 2 6 1	特準初準三	2特特	準特四	準七六準準	準特準	特	5 4 2 5 二準	準	
三初段	△下下中下上上	1初段二段上12	2二段	六段段七八四	八待五	待	△李好	下下中下中段六	下中上下	
☆☆	△	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○	○○○	○○○	
柏飯山	飯桐岩中高飯	高山山島高石小志柏早	先高中野工柏	山早渡金本江石	石吉田	吉田中松井本	毛光筆	大字田半金井	高成濱河清	
木島口	口塚山崎川品塚	山野橋口野木松川保木	木島崎品川口	藤木口川辺子多野松崎田	田▽	田▽	富鈴白佐支	大字田半金井	高成濱河清	
大愛る	雄智智翔	建瑞直連惺結み珠紅瞳真沢大由	愛結紹華亞さ	玲澤美妃	玲澤美妃	清かあ結め	吉師志	大字田半金井	高成濱河清	
6 3	特準四二三六七	特	8特特準1	8 4 3 2 5 4	4初	8 5 4 2 準4二準	五七準四五七準	五七準	特準特	
中上2	2初段段段段	待	綾級1二級	下上下段上段	二	下上中四下段五	段四段段段八	待	5 5 2 6 1	
○	☆☆	○○○	○○○	○○○	○	○○○	☆☆	○○○	○○○	
大永田	加三齋阿三加本松	筆支西市小松田今田	筆部	西市金松駒小井鈴小	岡佐小	大松田今古田井	毛光筆	大字田半金井	高成濱河清	
畑中田	浦藤浦	藤間井野室	藤澤之松尾村尾村	尾村尾	尾村内	脇木口野藤松井尾村内	富鈴白佐支	大字田半金井	高成濱河清	
寿も	瑠璃舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	吉田中松井本	大字田半金井	高成濱河清	
7 6	5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	渡牧與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
8 7 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
8 7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
下中上	下下中下中上	上下段五上初級	級	初級級	四段八級	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
齋清	中川仁福仁	有井橋高右平	奥多高森小閣山菊	高岩藤三	平奥高吉井	井中宮	中宮池高早	早	准	
大羽大井平	小大須小田西	神塩中宮柳塩	高山安大小塩	清塩堀西	小塩上福	皆福小	牧寒篠	寒篠	准	
塚塚澤	澤川井	井田田中	祐谷川島崎沢川	祐谷川	祐谷川	祐谷川	稻牧塩中	稻牧塩中	准	
慧玲	悠奏友	志泰彩ひ奈大芽那	知美真奈奈	結凍蘋	蘋惠	惠	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
8 6 8 7 2 2 3 4 2	特二準	5 2 1 準準準	四六五	5 2 1 準準準	四六五	7 7 準準	7 7 準準	8 6 4 準準六	7 7 7 8	
下下中	上段段中下	1段四	上下上初二三四	段段下	下段段	段八	待	△李好	下中上	
○○○	○○○	○○○	☆☆	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
大羽大井平	小大須小田西	神塩中宮柳塩	高山安大小塩	清塩堀西	小塩上福	皆福小	神小清耕大青田塩尾土	尾土	准	
塚塚澤	澤川井	井田田中	祐谷川島崎沢川	祐谷川	祐谷川	祐谷川	稻牧塩中	稻牧塩中	准	
慧玲	悠奏友	志泰彩ひ奈大芽那	知美真奈奈	結凍蘋	蘋惠	惠	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
5 3 3 2	特特三	準三三	準四六一	準三準六	準七	特特	3特4	準準三	二二	
中下中中1	2二段	四中下下二段五段六段二段	八待	△若五	△若五	△若五	△若五	△若五	五五	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
田星大白	谷三村松	横藤青伊恩岩	岩池高安岩	横青三池	小岩安東黑	小岩安東黑	毛筆支	毛筆支	准	
代頬久土	口谷松	松田原木藤	田間崎	田橋陪瀬野	木沢田川	木沢田川	理部	理部	准	
心成	保陽大貴	和由桜	美悠菜	詠杏美姫	由夢琴絵	由夢琴絵	▼久本彩理	▼久本彩理	准	
7 6 7 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾	宮脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	脇木口野藤松井尾村内	藤原井崎本水岡	大字田半金井	高成濱河清	
結流凍元	元乙格柚奎桜	里舞琴笑由小美	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	ま瀬崎袖茶寧	理悠百由	大字田半金井	高成濱河清	
7 6 6 5 4 8 7 5 4 2	準準6 6	準準7 5 4	4四準五	5五準六	5五準七	特準	8 5 4 5 2 1	初	準	
中下中下上上中	三四中上初段五上中	上段五段段	段七	八三	待	△李好	下下中下中下段	2 5 4 3 二	7 7 6	
○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○○	○○○	
杉梗渡牧	與上興吉秋柳	有齊坂牧小齊福緑堀高岡秋塩松秋鹿	中浅川西岩岡	岡	岡	岡	荻藤塩清潔富荻	大字田半金井	高成濱河清	
山本名	邊野水西水田原山	藤間井野室	藤澤之子尾尾</							

注意1. バーコード出品券と作品の段級位の不一致にご注意下さい。

2. バーコード出品券には必ず○印と段級位等を、作品には段級位名前を書いて下さい。

3. バーコード出品券の種別（臨規や仮規等）の○印の誤りに、ご注意下さい。

※上記の誤りがあった場合、正しい登録名列の各段級位の最後列にお名前が入っています。

# 書象会事務分掌

2019. 3 ~ 2022. 3

(☆印は部長 ○は副部長)

会長  
田中 節山

理事長  
市澤 静山

理事長代行  
内藤 望山

副理事長  
杉山 晓雲  
虎井 晓鐘  
中村 巍山  
二瓶 嶽風  
樋口 玄山

副理事長  
事務局長兼任  
山口 啓山

副事務局長  
柳澤 玄嶽

董事  
片倉 天風  
高瀬 霞山  
西野 江月  
藤岡 月華

木曜会  
柳澤 玄嶽  
蕪木 珠紅  
成瀬 恵苑

庶務部

☆ 山口 啓山  
○ 横田 小泉

総務 山口

会計 横田

行事 横田

涉外 山口

情報 萩田・小室

書象誌編集部

☆ 露崎 玄峯  
○ 宮本 耕成  
竹内 藍山  
藤森 大節  
杉山 窓影

編集 露崎・宮本

手本 宮本・竹内・露崎

校正・発送 露崎・宮本

正師範・特待生  
少年少女の頁 杉山・露崎  
昇段級試験 藤森・露崎

審査 行事取材 宮本・杉山・露崎

展覧会部

☆ 萩田 光山  
○ 竹内 墨洋  
石丸 晓風  
畠中 高山  
成瀬 恵山  
寺尾 順雲  
江上 玄光  
坂牛 静心  
布施 杠華  
林田 翠山

書象展 萩田・竹内  
坂牛・布施・林田

謙慎展 寺尾・江上  
成瀬

読壳展 竹内・畠中  
林田

日展 萩田・寺尾  
畠中

学生展 江上・坂牛  
布施

諸展 成瀬・石丸

研修部

☆ 柳澤 玄嶽  
○ 小室 墨汀  
小渕 石峯  
久保 妙山  
大澤 梢光  
芦川 臨泉  
蕪木 珠紅  
鈴木 草影  
中内 真意

講習・講演会 小室・中内

通信条研 大澤・柳澤

支部対策 小渕・蕪木

合宿 柳澤・芦川

書象かな会 久保・鈴木

(地区幹事)

結城 正憲(山形) 小泉 売藍 高橋 天翠(千葉) 原山 翠光 (長野北信) 小林 鐘山(長野東信)

笠原 泰山 関澤 劍山(長野中信) 金田 成仁(長野南信) 長谷川 石心 日比野 汀華(愛知)

桂川 聰花(三重) 藤澤 珠玉(大阪) 畠中 高山(福井) 吉澤 蒼雲(熊本)

# 段級位切り替え表

一般	中学	小学
臨楷課題 硬筆課題	毛筆課題 硬筆課題	
8級	8級 ← 8級(上・中・下) 7級 ← 7級(上・中・下) 6級 ← 6級(上・中・下) 5級 ← 5級(上・中・下) 4級 ← 4級(上・中・下) 3級 ← 3級(上・中・下) 2級 ← 2級(上・中・下) 1級 ← 1級(上・中・下)	8級 ← 8級(上・中・下) 7級 ← 7級(上・中・下) 6級 ← 6級(上・中・下) 5級 ← 5級(上・中・下) 4級 ← 4級(上・中・下) 3級 ← 3級(上・中・下) 2級 ← 2級(上・中・下) 1級 ← 1級(上・中・下)
7級	特1級 ← 特1級 特2級 ← 特2級 準初段 ← 準初段 初段 ← 初段 準二段 ← 準二段 二段 ← 二段 準三段 ← 準三段 三段 ← 三段	特1級 ← 特1級 特2級 ← 特2級 準初段 ← 準初段 初段 ← 初段 準二段 ← 準二段 二段 ← 二段 準三段 ← 準三段 三段 ← 三段
6級	準四段 ← 準四段 四段 ← 四段 準五段 ← 準五段 五段 ← 五段 準六段 ← 準六段 六段 ← 六段 準七段 ← 準七段 七段 ← 七段 準八段 ← 準八段 特待生 ← 特待生	準四段 ← 準四段 四段 ← 四段 準五段 ← 準五段 五段 ← 五段 準六段 ← 準六段 六段 ← 六段 準七段 ← 準七段 七段 ← 七段 準八段 ← 準八段 特待生 ← 特待生
5級	平成31年度 書象会夏季合宿鍊成会	平成31年度 書象会夏季合宿鍊成会
4級	会期 平成31年8月31日(土)～9月2日(月) 会場 福島県磐梯熱海温泉ホテル華の湯 定員 200名(6月より受付開始) その他 ホテル内に広い鍊成場を提供していただきました。 詳細は5月中旬にお知らせします。 (研修部)	会期 平成31年8月31日(土)～9月2日(月) 会場 福島県磐梯熱海温泉ホテル華の湯 定員 200名(6月より受付開始) その他 ホテル内に広い鍊成場を提供していただきました。 詳細は5月中旬にお知らせします。 (研修部)
3級	☆第56回謙慎神奈川・静岡展	☆第56回謙慎神奈川・静岡展

## 書象会便り

◆第81回謙慎書道会展に三六六名が出品  
標記の最終選考会が去る二月三日(日)武藏野スイングホールで開催され、審査の先生方が一点一点確認され、出品手続きを完了しました。

### 〈漢字部〉

○副会長	一名
○副理事長	一名
○常任理事	三〇名
○評議員	一〇九名
○公募	一三三名
○理事	九三名

### 〈書展予告〉

☆第12回藤岡月華書展  
会期 四月一日(月)～六日(土)  
会場 新井画廊(銀座第5大陽ビル1F)  
会期 四月二十五日(木)～二十九日(祝)  
会場 静岡市民ギャラリー  
会期 四月一日(月)～六日(土)  
会場 藤森大節(本会関係)

### ☆第59回熊日書道展

会期 二月二十一日(木)～二十五日(月)	会期 二月二十六日(火)～三月三日(日)
会場 阿佐ヶ谷区民センター	会場 熊本県立美術館本館
出品者 大賀 霞泉	本橋 芳月
本橋 大柳	山下 木華
無鑑査 吉澤 蒼雲	(本会関係)
入選 鹿谷 貞松	中川 汀松
選出 虎本 溪風	経方 愛節
会員 芦川 臨泉	岡野 泰泉

詳細は5月中旬にお知らせします。

その他  
ホ  
テ  
ル  
内  
に  
広  
い  
鍊  
成  
場  
を  
提  
供  
し  
て  
い  
た  
だ  
き  
ま  
し  
た。

### ※注意

- ・中学を卒業して一般に移行する方の毛筆課題の段級位は、臨書楷書課題へのみ、上の表の通りに移行し、4月からは切り替えた級位で出品して下さい。臨書行書課題や仮名課題への移行はありませんので、級位は「新」として出品して下さい。
  - ・小学生から中学生への級位切り替えはバーコード出品目録で自動的に切り替えます。
- (編集部)

代 表	發 行 人	(有) 書 象
上 條	節	夫 象
振替口座	東京都武藏野市吉祥寺北町四一三一六	
郵便番号	180 001	
振替名儀	電話〇四三(五三)九七四三	
印刷所	〇〇一九〇一七一五五六九一	
株式会社	(有) 書 象	
リンクス	研修部	